

第1次七尾市総合計画 目標達成状況

(平成27年1月31日現在)

総務部企画財政課

目次

1	目標達成状況の概要	1
2	目標人口達成状況	4
3	分野別目標達成状況	
	第1節 地域経営	5
	第2節 産業	9
	第3節 教育	19
	第4節 芸術・文化	27
	第5節 自然環境	31
	第6節 健康・福祉・医療	35
	第7節 生活環境・都市基盤	45
4	分野別目標達成状況一覧	53

目標達成状況の概要

1 将来人口（目標人口）及び主な目標値について

（1）基本構想の将来人口（目標人口）

第1次七尾市総合計画（平成21～30年度）の基本構想では、平成30年度の推計人口約50,000人に対して、人口減少を抑制するための重点的かつ戦略的な施策を行うことにより、将来人口（目標人口）を52,000人とするとともに、平成30年度までの各年度の目標人口を設定しています。

（2）基本計画の主な目標値（分野別目標達成）

また、基本構想では、「人が輝く 交流体感都市」を市の将来像に掲げ、その実現のために、基本計画において施策に基づき具体的な数値で示した64の主な指標の目標値を設定しています。

将来人口及び主な目標値については、総合計画の最終目標年次（平成30年度）と基本計画の前期の目標年次（平成25年度）の目標値とともに、年度ごとの目標値を設定し、達成状況を毎年度公表することとしています。

2 平成25年度の実績について

（1）目標人口の実績

総合計画策定時に設定した平成25年10月1日における目標人口55,753人に対し、平成25年の結果は、55,582人となり、目標人口を171人下回ったものの、当時の推計人口を547人上回りました。

（2）分野別目標達成の評価基準

実績は、目標の達成状況に応じて、S、特A、A、B、Cの5つの評価ランクで区分しています。

評価ランク	当該年度目標達成率
S：平成25年度の目標値を達成している	—
特A：当該年度の目標ラインを大幅に上回っている	110%以上
A：当該年度の目標ラインを上回っている	100%以上～110%未満
B：当該年度の目標ラインを下回っている	90%以上～100%未満
C：当該年度の目標ラインを大幅に下回っている	90%未満

(3) 分野別目標達成の実績の概要

平成25年度の主な目標値の実績は、事業が復活した1項目を加え64項目のうち、Sランクが22項目、特Aランクが1項目、Aランクが2項目、Bランクが14項目、Cランクが25項目でした。

全64項目のうち、Aランク以上となった項目は25項目で、全体の39.1%にとどまる結果となりました。

◎ 達成率：(ランクS、特A、Aの合計項目数) ÷ 全項目数 × 100

政策区分	S	特A	A	B	C	合計	達成率
地域経営	3 (3)			1 (2)	2 (1)	6 (6)	50.0% (50.0%)
産業	7 (3)		(1)	3 (2)	6 (10)	16 (16)	43.8% (25.0%)
教育	3 (5)		1	2 (3)	5 (3)	11 (11)	36.4% (45.5%)
芸術・文化	1				4 (5)	5 (5)	20.0% (0.0%)
自然環境	1		(1)	1	2 (3)	4 (4)	25.0% (25.0%)
健康・福祉・医療	3 (2)	1	(1)	3 (4)	5 (5)	12 (12)	33.3% (25.0%)
生活環境・都市基盤	4 (5)		1 (2)	4 (1)	1 (2)	10 (10)	50.0% (70.0%)
合計	22 (18)	1	2 (5)	14 (12)	25 (29)	64 (64)	39.1% (31.7%)

※ 表中のかっこ書きは、平成24年度の数値

3 まとめ

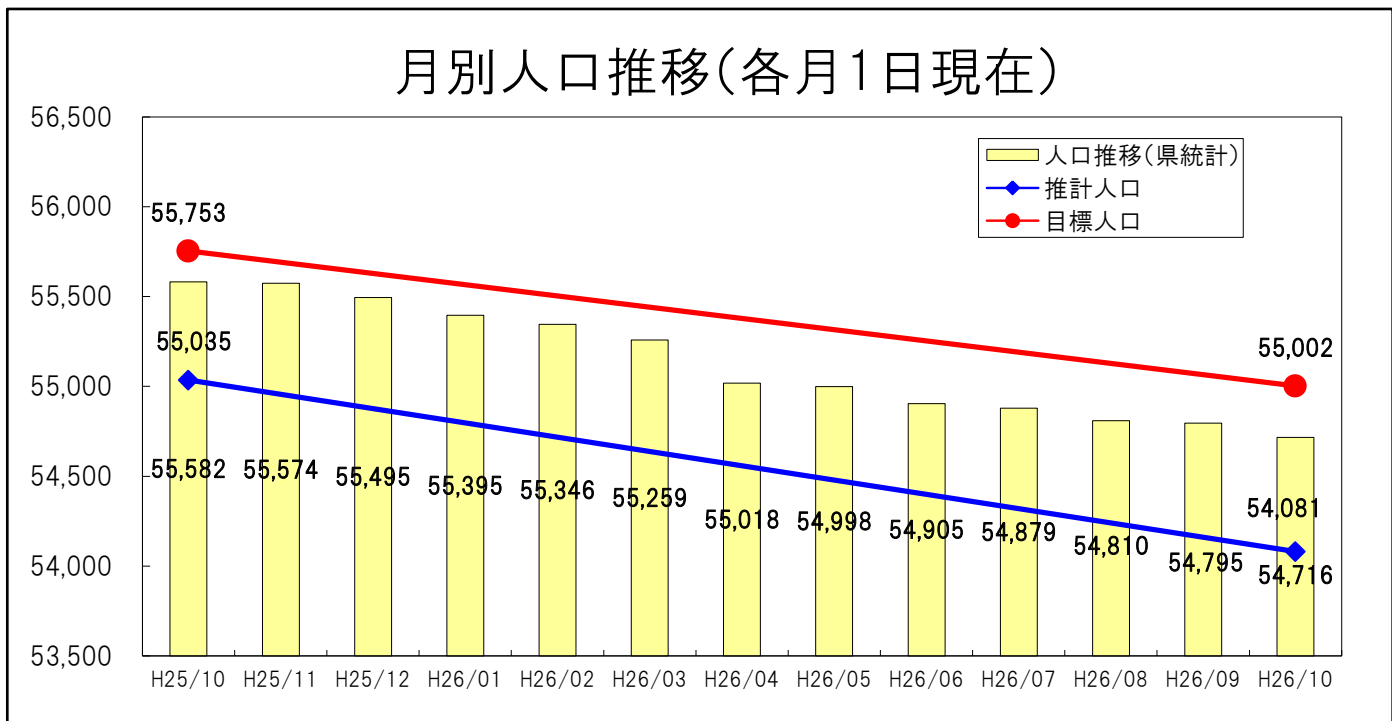
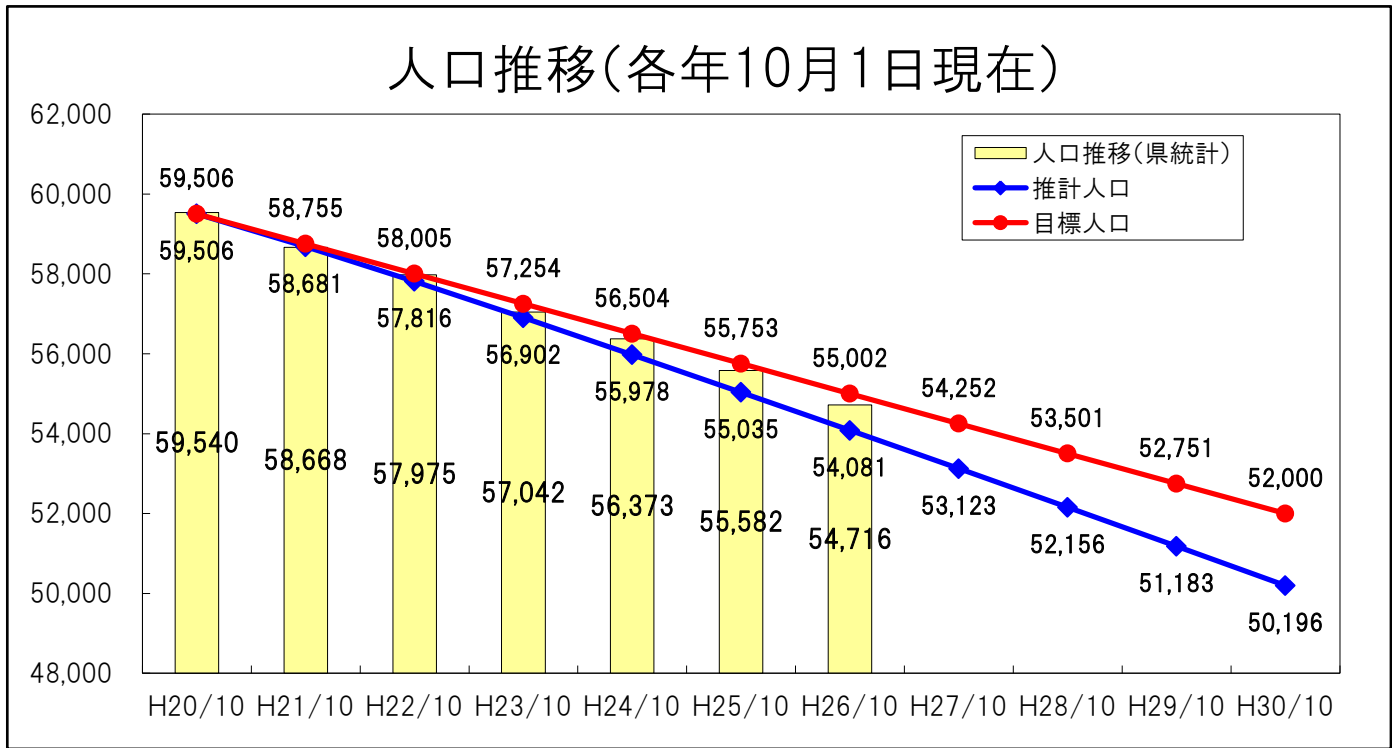
今回の目標達成状況は、平成21年度から平成30年度を目標年次とする第1次七尾市総合計画に基づき、平成22年度から行っています。

人口は、総合計画策定時に設定した目標人口を下回っているものの、推計人口を若干上回る数値で推移しています。今後も、分野別それぞれの目標の達成を強化し、相乗効果を生むことにより、目標人口を確保できるよう取り組みます。

分野別の目標の達成状況については、分野別の主な目標値設定の難易度にばらつきが見られることや、目標値を見直した項目があること、また目標値の評価に当たり実施した「七尾市まちづくり市民意識調査」の結果が総じて低い水準となったことから、全体として達成度が低くなる傾向となりました。

今後は、特に達成率の低い政策分野について、全体的な底上げをしていかなければなりません。特に、ランクB、Cの分野については、毎年度の具体的な現状、課題を適切に分析し、工夫をした施策運営をするとともに、あわせて、ランクSとなった分野についても、改めて高い目標を設定するなど、後期基本計画（平成26年度）の目標の確実な達成に向け、積極的に取り組みます。

目標人口達成状況



年/月	人 口			増減数	対 前 月				世帯数	対前月増減数	
	総 数	男	女		自然増減数		社会増減数				
					出生者数	死亡者数	転入者数	転出者数			
H25/10	55,582	26,253	29,329	-43	25	73	100	95	20,866	-18	
H25/11	55,574	26,259	29,315	-8	52	63	107	104	20,877	11	
H25/12	55,495	26,225	29,270	-79	26	70	62	97	20,881	4	
H26/01	55,395	26,176	29,219	-100	24	70	54	108	20,846	-35	
H26/02	55,346	26,165	29,181	-49	35	82	77	79	20,833	-13	
H26/03	55,259	26,130	29,129	-87	27	65	56	105	20,801	-32	
H26/04	55,018	25,995	29,023	-241	19	78	216	398	20,782	-19	
H26/05	54,998	25,986	29,012	-20	28	70	223	201	20,854	72	
H26/06	54,905	25,937	28,968	-93	20	69	82	126	20,839	-15	
H26/07	54,879	25,925	28,954	-26	35	64	92	89	20,841	2	
H26/08	54,810	25,887	28,923	-69	24	64	88	117	20,855	14	
H26/09	54,795	25,906	28,889	-15	18	50	107	90	20,858	3	
H26/10	54,716	25,865	28,851	-79	25	71	67	100	20,827	-31	
			累計	-909	358	889	1,331	1,709			-57

分野別目標達成状況

1 地域経営
1 協働・市民参画の推進
(1) 協働のまちづくりの推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
市民と行政が協力し合うまちづくりが進んでいると思う市民の割合（市民アンケート）	20.1%	30.6%	25.0%	35.0%

この分野における現状

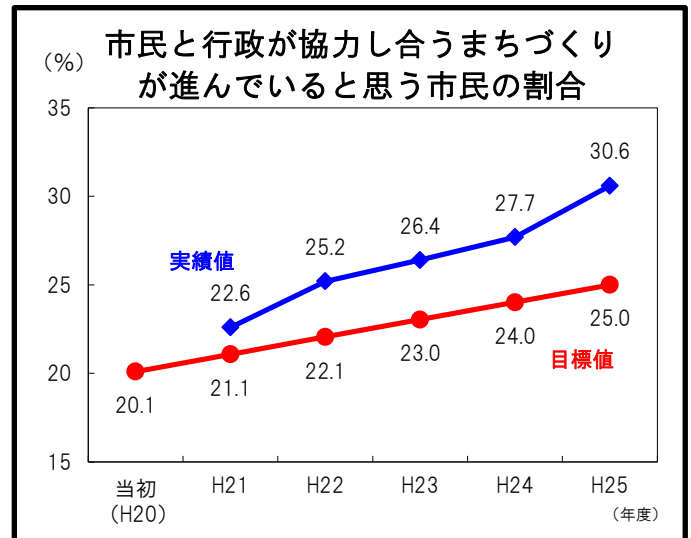
- ・協働のまちづくり推進事業では、回を重ねることに応募団体が減少し、本年度の補助団体は5団体になったことから、本事業の見直しを図る。
- ・市民活動団体同士の情報交換する場の不足
- ・協働という概念をもって活動している団体が少ない。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・協働を推進するにあたっての課題の掘り出し
- ・協働するもの同士が共有できるルールを策定
- ・協働を推進するための、市民参画と情報公開の促進

平成26年度の主要事業

- ・まちづくり基本条例推進事業
- ・まちづくりコーディネーター派遣事業
- ・協働のまちづくり推進事業
- ・市民のねがい推進事業
- ・シンボルの周知事業
- ・協働の基本指針の策定



担当課	評価ランク
市民男女協働課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
地域活動に参加している市民の割合（市民アンケート）	51.3%	50.7%	55.0%	60.0%

この分野における現状

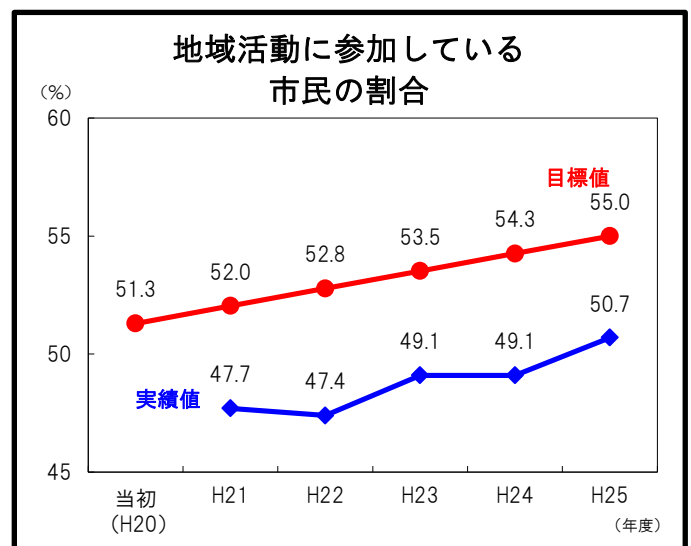
- ・少子高齢化による地域の担い手不足
- ・地域活動の核となる、地域づくり協議会が6地域で設立されているが、今後順次他の地域での設立を促す。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地域づくり協議会をとおして地域活動の基盤整備を行う。
- ・地域づくり協議会に地域づくり専門員を配置し、協議会を主体とした地域活動の展開。
- ・地域づくり協議会に地域の特性を活かした活動の財政的支援。
- ・未設置の地域に対して設立の支援を行う。

平成26年度の主要事業

- ・地域づくり協議会活性化支援事業
- ・地域づくり協議会地域の底力支援事業
- ・地域づくり専門員の設置
- ・地域づくりの担い手育成事業（市民講座、地域おこし協力隊）



分野別目標達成状況

1 地域経営
1 協働・市民参画の推進
(2) 広報・広聴活動の充実

担当課	評価ランク
広報広聴課、 ケーブルテレビ 推進室	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
市が市政に関する情報を適切に提供している と思う市民の割合（市民アンケート）	47.0%	47.2%	56.0%	65.0%

この分野における現状

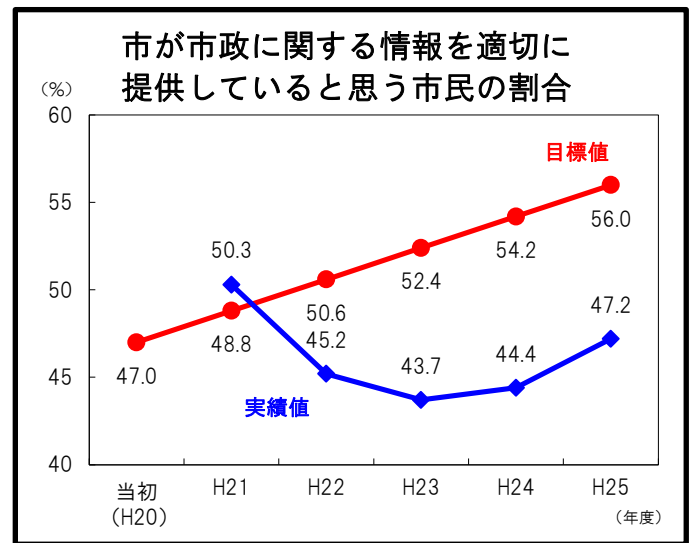
- ・毎月「広報ななお」「声の広報」を発刊し、市からのお知らせや地域的话题を伝えている。
- ・フェイスブックの「いいね！」が2,400人を超え、旬の話題提供をしている。
- ・地域に向いて市の施策などについて意見交換を行う「市政懇談会」や市長にまちづくりや生活環境の提案をしていただく「市長談話室」などを開催している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・広報…各種媒体（広報ななお・ケーブルテレビ・ホームページ・各課における広報媒体）を生かした広報を行う必要がある。
- ・広聴…意見を外に出さない市民の存在を認識し、市民の声を聴く機会の充実が求められる。

平成26年度の主要事業

- ・市民にわかりやすい広報誌やケーブルテレビ番組の作成
- ・市政懇談会の開催
- ・市長談話室の開催
- ・市民の声を把握する「ご意見箱」の設置 など



分野別目標達成状況

1 地域経営
2 効率的な行政経営の推進
(1) 行政サービスの向上

担当課	評価ランク
秘書人事課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
市役所職員の窓口や電話での対応に満足している市民の割合（市民アンケート）	56.0%	57.4%	65.0%	75.0%

この分野における現状

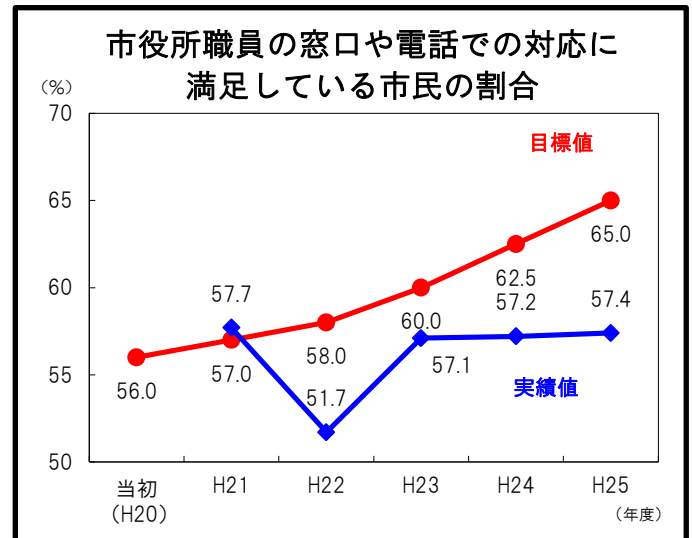
- ・ 窓口業務の多いミナクルの健康福祉部では、全職員でお客様心得の条を唱えるなど意識改革に努め、接遇向上に対する職員の意識は、徐々に高まりつつある。
- ・ 市民の苦情に関する投書も減少傾向である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 職員の意識改革の徹底
- ・ 各職員による日常業務の改善

平成26年度の主要事業

- ・ 外部機関派遣研修事業
(説明能力向上、実践交渉力、住民サービス・クレーム対応)
- ・ 人事考課制度
(全職員の自己チェック方式を導入し意識改革につなげる)



分野別目標達成状況

1 地域経営
2 効率的な行政経営の推進
(2) 健全な行財政経営の推進

担当課	評価ランク
企画財政課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
経常収支比率	98.8%	94.0%	97.0%	92.0%

この分野における現状

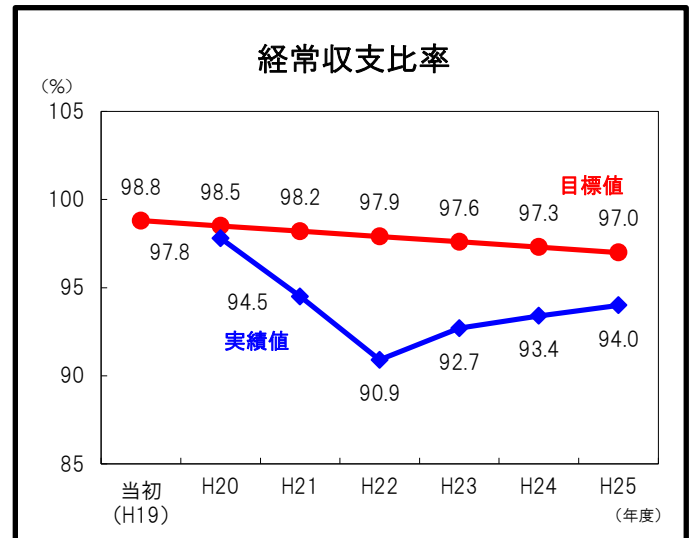
財政構造の弾力性を示す経常収支比率は94.0%で、対前年0.6%悪化した。これは、歳入において地方交付税などで約2億円の増となったものの、歳出で経常経費を賄うために必要な一般財源が約4億3千万円増加したことによるものである。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・市税の確保
- ・行革3次プランの確実な取組み
- ・定員適正化計画の確実な取組み

平成26年度の主要事業

経常経費の削減（事務事業の見直し、施設管理経費の抑制）



担当課	評価ランク
企画財政課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
実質公債費比率	20.1%	15.6%	19.0%	17.0%

この分野における現状

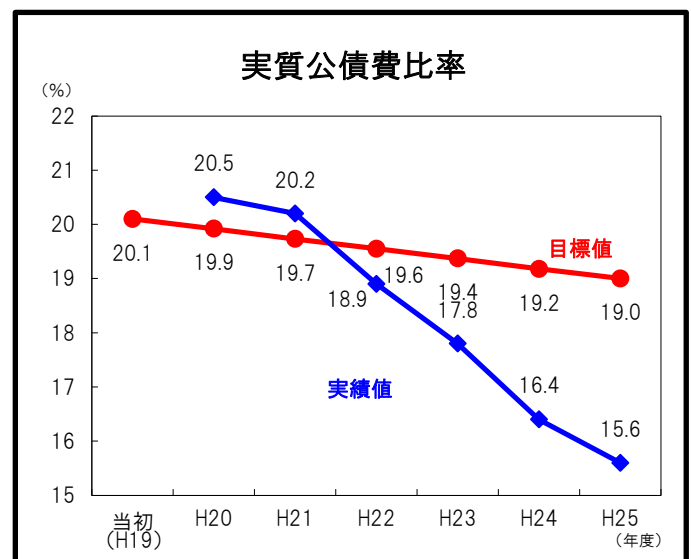
実質公債費比率が対前年度0.8ポイント改善した。主な理由は、合併特例債の交付税算入が対前年度1億1千万円の増となったことなどであり、実質公債費を縮小させる要因となっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・交付税措置のある有利な地方債発行
(合併特例債の発行 ～平成26年度まで)
償還条件：償還期間20年（うち1年据置）

平成26年度の主要事業

元金償還金を下回る市債発行（市債残高の抑制）



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(1) 魅力あふれる観光地の形成

担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
七尾市への入り込み客数	3,822,705人	3,680,917人	4,000,000人	4,300,000人

この分野における現状

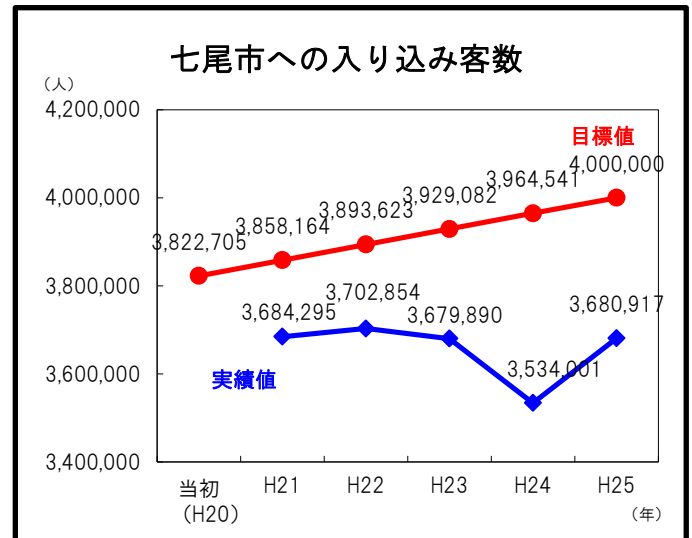
・宿泊施設では、和倉温泉の利用者が復調傾向である。観光施設では、道の駅のとじまや併設する能登島ガラス工房がリニューアルし魅力が高まっている。
 ・交通インフラでは、平成27年3月に北陸新幹線金沢開業、能越自動車道七尾水見道路の全線開通を控え、首都圏及び中京圏からのアクセスが飛躍的に向上する。

目標達成に向けた具体的な課題

・地域資源を活用した「体験・学習・交流・食」メニューの充実による「滞在型観光」の整備。
 ・北陸新幹線金沢開業後にJR七尾線、のと鉄道で運行開始となる「観光列車」を活用した誘客の促進。

平成26年度の主要事業

・魅力あるイベントの開催
 (MJF、港まつり、花嫁のれん展、能登ふるさと博等)
 ・七尾湾魅力アップ推進事業
 (等伯と歩く七尾の地バスツアー、七尾城に関するフォーラム等)



担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
和倉温泉への入り込み客数	905,705人	852,157人	1,091,000人	1,200,000人

この分野における現状

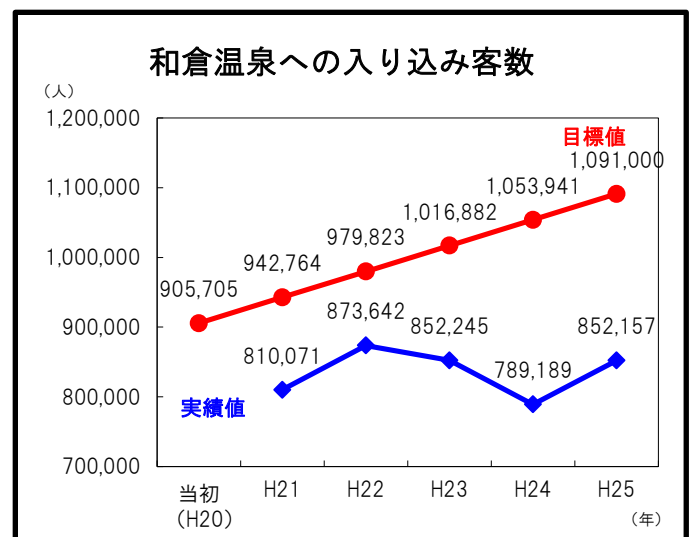
平成25年4月から始まった、能登有料道路の無料化、能越自動車道大泊IC七尾城山IC間の開通に伴い、入込客数が伸びた。

目標達成に向けた具体的な課題

・「地域資源」を活用した「体験・学習・交流・食」メニューの充実による「滞在型観光」の整備。
 ・平成26年度新幹線金沢開業及び平成26年度能越自動車道七尾IC供用開始に伴う観光関連整備事業(ソフト・ハード)の推進

平成26年度の主要事業

・和倉温泉の魅力あるイベントの開催
 (夏・冬花火、能登和倉万葉の里マラソン)
 ・宿泊拠点化推進事業(二次交通促進事業)
 ・まちづくり推進事業
 ・観光地ブランド化推進事業
 ・誘客広報全国展開事業



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(2) 広域観光の促進

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
三大都市圏からの入り込み客数 (和倉温泉)	482,114人	407,678人	570,000人	600,000人

この分野における現状

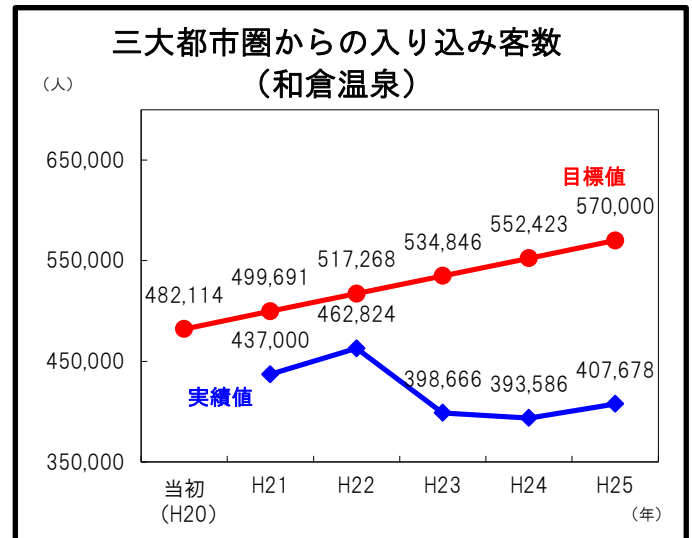
平成22年から2年連続での減少であったが、平成25年度は能登有料道路の無料化、能越自動車道大泊IC七尾城山IC間の開通に伴う復調の兆しがみられる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・能登半島広域観光協会の構成団体である宝達志水町以北の4市5町全域の情報提供
- ・各市町の地域資源の有機的な連携による「滞在型観光」の整備
- ・平成26年度新幹線金沢開業及び平成26年度能越自動車道七尾IC供用開始に伴う観光関連整備事業（ソフト・ハード）の推進

平成26年度の主要事業

- ・能登半島広域観光協会による能登全体のPR活動の推進
- ・能登ふるさと博キャンペーン事業
- ・郡上市、丸亀市交流事業
- ・飛越能経済観光都市懇談会事業
- ・高岡水見七尾広域観光事業
- ・和倉温泉誘客広報全国展開事業



担当課	評価ランク
観光交流課	B

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
外国人宿泊者数 (和倉温泉)	21,227人	19,610人	20,000人	25,000人

この分野における現状

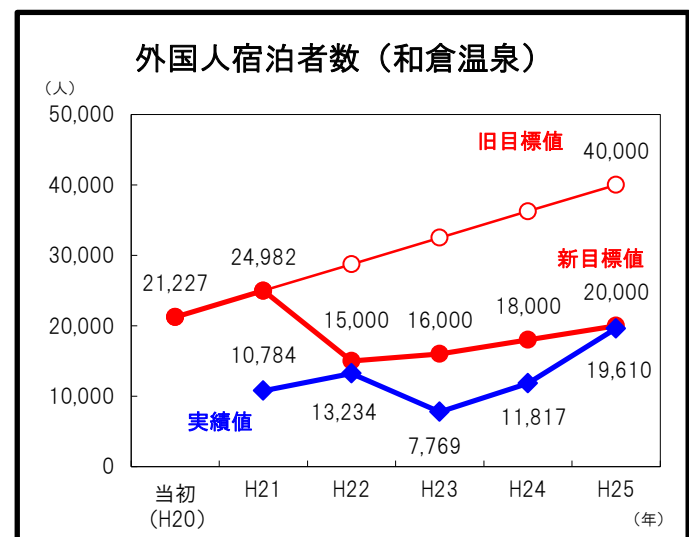
平成23年3月に発生した東日本大震災の影響が薄れ、風評被害が和らいだ。円安の影響などで震災前のレベルまで入込みが回復してきている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・国際チャーター便の誘致活動の推進
- ・外国人観光客の受け入れ体制の強化
- ・外国人観光客への情報発信

平成26年度の主要事業

- ・能登空港活性化、利用促進事業
- ・台湾観光団体誘客事業 (ゴルフ・サイクリング)



分野別目標達成状況

2 産業
1 観光の振興
(3) 体験・滞在型交流の促進

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
体験・滞在型交流人口	2,202人泊	37,625人泊	65,000人泊	90,000人泊

この分野における現状

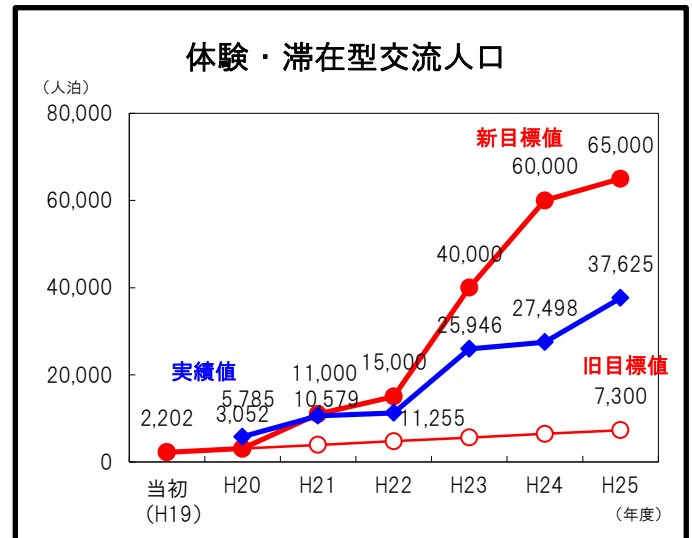
地域資源を活用した「体験・学習・交流・食」メニューのプログラムの提供と文科系及びスポーツ合宿により、宿泊人泊が大幅に増加した。今後も増加が見込まれるサッカー合宿の受入強化を図るため、和倉温泉、能登島に整備した人工芝グラウンドを活用し、更なるサービス向上に努める。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地域資源を活用した「体験・学習・交流・食」メニューのプログラムの充実による「体験・滞在型交流」の推進。
- ・文化サークル、ヨット合宿の受入態勢の強化
- ・ワンストップサービスの充実と機能強化
- ・栄養管理の徹底など、質の高い合宿サービスの平準化

平成26年度の主要事業

- ・ふるさと魅力創出事業（スローライフ推進事業）
- ・和倉温泉運動公園テニスコートの整備
- ・合宿誘致事業
- ・子ども農山漁村交流プロジェクト事業



分野別目標達成状況

2 産業
2 商工業の振興
(1) 地域資源を活かした商工業の振興

担当課	評価ランク
産業振興課	C

指標名	当初 (平成18年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
製造品出荷額等	693億円	538億円	721億円	741億円

この分野における現状

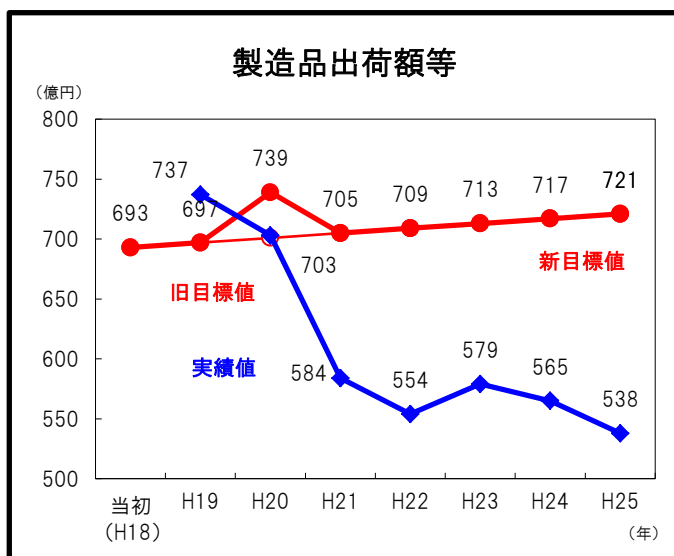
- ・事業所数の減少
 中小小売業者等
- ・売り上げ減少
- ・伝統産業の衰退

目標達成に向けた具体的な課題

- ・中小企業経営の安定化に向けた取り組み
- ・後継者不足
 技術伝承のための人材育成等
- ・ニーズの多様化に対応した経営
- ・生産の共同化、協業化に向けた体制づくり

平成26年度の主要事業

- ・中小企業経営安定保証料補助金
- ・新商品開発事業、販路開拓支援事業
- ・産業人材育成（のと・七尾人間塾、創業塾）
- ・伝統産業振興（七尾仏壇・田鶴浜建具）
- ・地域産業振興プランの具現化に向けた取り組み



担当課	評価ランク
産業振興課	S

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
(修正) 新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	15事業者	13事業者	10事業者	15事業者

この分野における現状

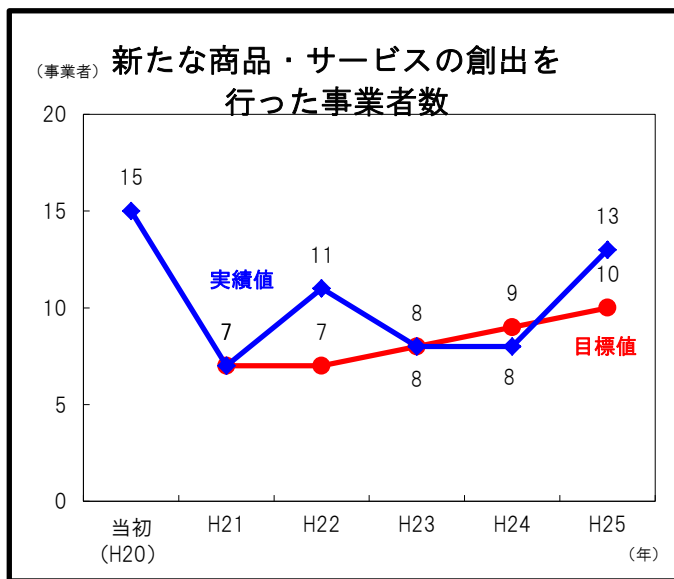
- ・事業所数の減少
 中小小売業者等
- ・売り上げ減少
- ・伝統産業の衰退

目標達成に向けた具体的な課題

- ・中小企業経営の安定化に向けた取り組み
- ・地域資源を活かした施策の展開
- ・後継者不足
- ・ニーズの多様化に対応した経営
- ・魅力ある商店街づくり

平成26年度の主要事業

- ・新商品開発事業、販路開拓支援事業
- ・中小企業経営安定保証料補助金
- ・産業人材育成（のと・七尾人間塾、創業塾）
- ・伝統産業振興（七尾仏壇・田鶴浜建具）
- ・特産品振興（特産品協会）
- ・地域産業振興プランの具現化に向けた取り組み



分野別目標達成状況

2 産業
2 商工業の振興
(2) 雇用機会の創出と人材育成

担当課	評価ランク
産業振興課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
企業立地件数 (平成20年度からの累計)	0件	5件	5件	10件

この分野における現状

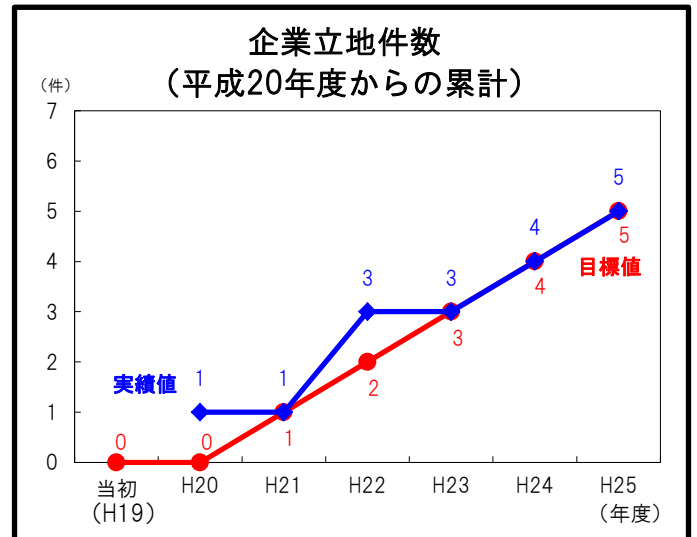
- ・昨今の経済情勢により、企業進出は厳しい状況にあるが、東日本大震災後、リスク分散で太平洋側から日本海側への工場の移設に期待できる。
- ・能越自動車道や七尾港等のインフラ整備が進んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・新たな企業立地情報が不足している。
- ・地理的条件から誘致が進んでいない。
- ・既存企業のサポートが充実していない。

平成26年度の主要事業

- ・食品加工、木材加工を重点とした誘致活動
- ・職員及び企業立地推進員による情報発信及び収集
- ・中京圏へのセールス活動 (七尾鹿島経済交流促進協議会)
- ・企業訪問の実施
- ・企業アンケート調査の実施



担当課	評価ランク
産業振興課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 新規起業家数 (平成19年度からの累計)	3人	16人	8人	12人

この分野における現状

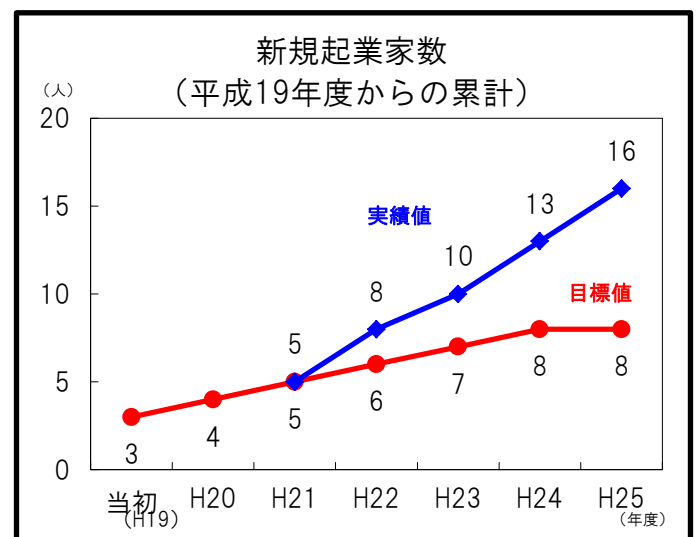
- ・人口減少等による地域産業の衰退
- ・消費者ニーズの多様化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・経営に関する知識、ノウハウ不足
- ・優れた産業人材不足
- ・人口減少等による地域産業の衰退

平成26年度の主要事業

- ・ななお創業応援カルテットによる支援 (創業塾等)
- ・産業人材育成 (のと・七尾人間塾)
- ・シャッターオープン事業
- ・新商品開発事業



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(1) 個性豊かな農業の振興

担当課	評価ランク
農林課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
認定農家数	101経営体	122経営体	130経営体	160経営体

この分野における現状

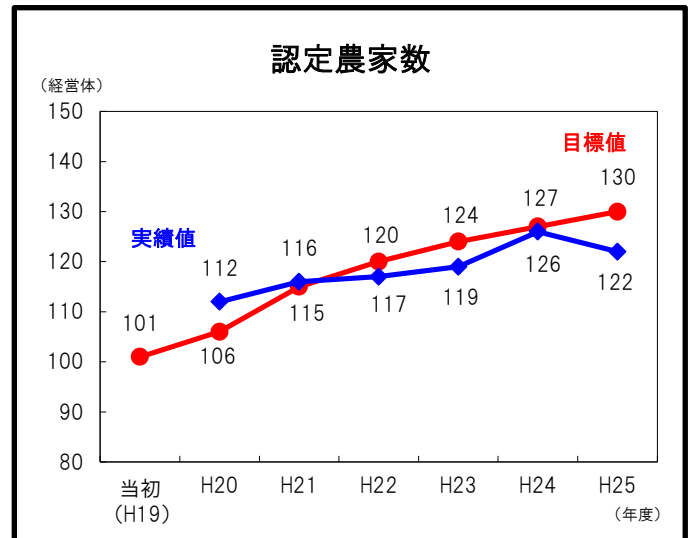
・ 農業者が自ら作成する農業経営改善計画（5年後の経営目標）を認定することにより、意欲を持って経営の改善・発展に取り組む認定農業者を育成している。

目標達成に向けた具体的な課題

・ ほ場整備の推進、集落営農、農業法人の育成。
 ・ 高齢化に伴う死亡や認定を更新しない者も多く、集落営農や法人化に伴い、認定者数自体は減少に転じる場合もある。
 ・ 加工・流通・販売等の多角化経営の取り組み。

平成26年度の主要事業

・ 基盤整備事業を通じた担い手を育成
 ・ 認定農業者・集落営農組織の育成
 ・ 新規就農者の就農支援。
 ・ 営農支援センターにおける担い手育成事業の推進。



担当課	評価ランク
農林課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 集落営農組織数	25組織	30組織	27組織	28組織

この分野における現状

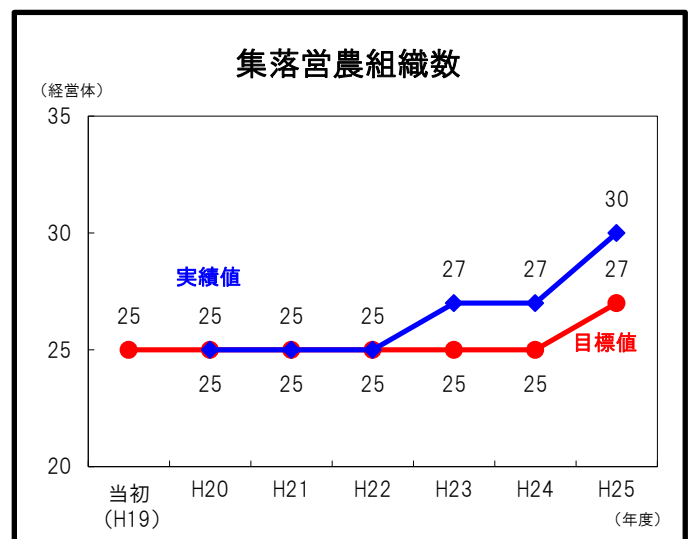
・ 3戸以上の農家で機械資源の共有化や共同販売経理などを行う組織を集落営農としている。
 ・ 過剰投資を抑え、営農の継続性を高めるためにも組織化は必要。

目標達成に向けた具体的な課題

・ 個人の認定農業者と共存できる集落営農のあり方。
 ・ 認定農業者を中心として設立する集落営農の推進。
 ・ 任意組織での個別販売経理を一元化に導く方策。

平成26年度の主要事業

・ 戸別所得補償による集落営農の法人化支援
 ・ 県・市・JAが協同して集落説明会を実施。
 ・ 営農支援センターで集落営農化研修会や先進地視察の実施。



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(2) 豊かな森林資源の保全と活用

担当課	評価ランク
農林課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
間伐材生産量	1,213m ³	6,231m ³	5,000m ³	5,000m ³

この分野における現状

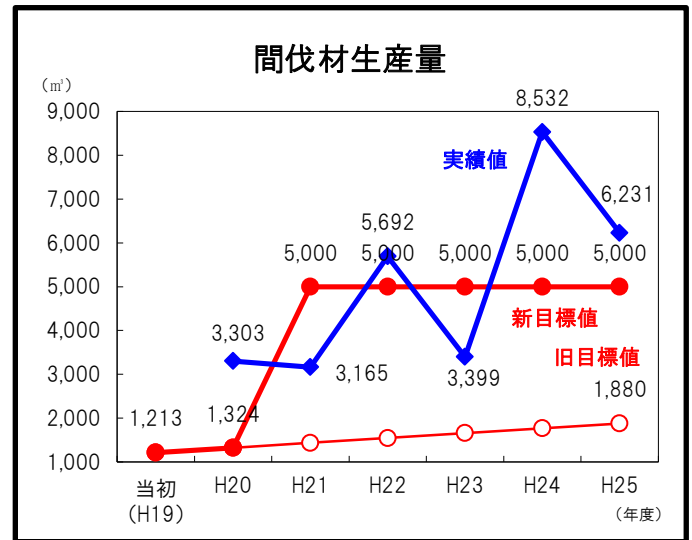
・木材価格の低迷、林業採算性の悪化、過疎化等による手入れ不足の森林が増加しているため、森林が荒廃し、機能が低下し、災害等の発生が懸念されており、適切な森林施業の実施が必要である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・除間伐などの森林施業の実施
- ・森林の公益的機能の低下防止、回復
- ・間伐材利活用促進、需要拡大
- ・担い手など人材育成

平成26年度の主要事業

- ・七尾市産材使用住宅助成事業
- ・森林整備地域活動支援交付金事業



分野別目標達成状況

2 産業
3 農林水産業の振興
(3) 魅力ある水産業の創出

担当課	評価ランク
里山里海振興課	S

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
七尾市公設地方卸売市場の水産物取扱高	12,205t	17,326t	13,800t	15,300t

この分野における現状

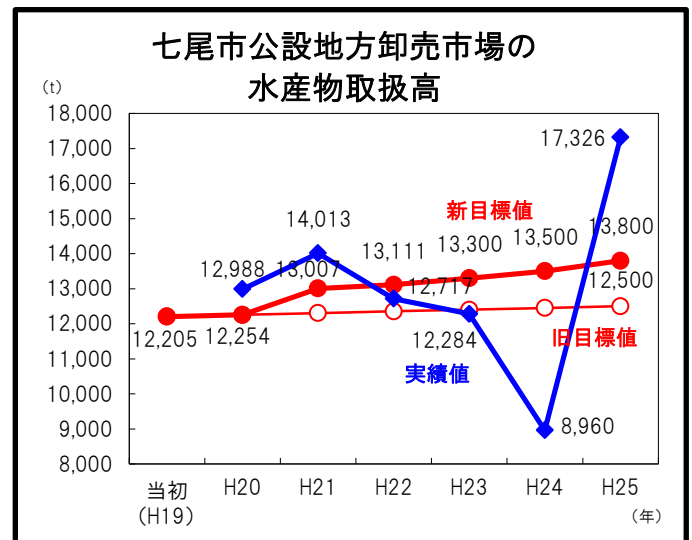
漁業経営者の減少・慢性的な資源減少・消費者の魚ばなれ・魚価の低迷など、漁業を取り巻く環境は大変に厳しい。大型定置網漁業には新規就業者が増加しており、効果的な経営改善策の推進と併せて、安定した漁業経営を営む下地はできつつある。

目標達成に向けた具体的な課題

地域栽培漁業の推進
 ・アカガイ、サザエ、アワビ、クロダイ、ヒラメの放流
 ・高級魚介類の資源増大に向けた取組み(トリガイ、トラフグ、ナマコ)
 「いきいき七尾魚」「能登かき」「能登なまこ」ブランド推進
 水産基盤の整備

平成26年度の主要事業

トリガイ試験養殖事業、地域栽培漁業の推進指導
 漁業経営体の育成、水産ブランド化推進
 環境衛生管理型漁港の整備促進(庵漁港ほか)



分野別目標達成状況

2 産業
4 港を核とした産業の振興
(1) 港湾の機能充実と利用促進

担当課	評価ランク
産業振興課	C

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
取扱貨物量（七尾港）	4,395千t	3,550千t	4,900千t	5,400千t

この分野における現状

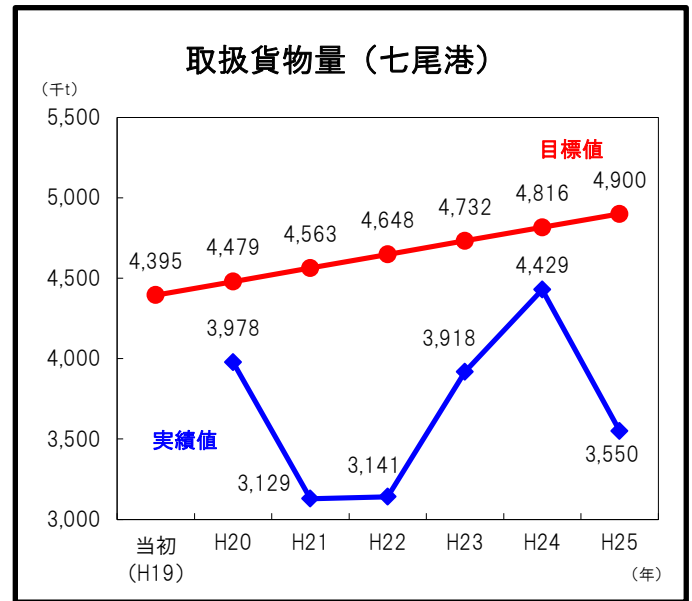
- ・主要貨物の石炭は国のエネルギー政策により増加傾向である。しかし、平成25年度は火力発電所の定期点検に伴い減少した。
- ・原木から製品、半製品へ取扱貨物が移行
- ・新規の直轄港湾整備事業の着手対象となる港湾から外れた。
- ・日本海側拠点港の拠点化形成促進港（原木）に認定された。

目標達成に向けた具体的な課題

- 協議会、会議所、港湾関係企業の連携による
- ・既存貨物の定着及び新規貨物の掘り起こし
 - ・港湾活用型企業の誘致

平成26年度の主要事業

- ・七尾港木材総合拠点化推進事業
- ・七尾港船舶整備拠点化推進事業
- ・クルーズ拠点港推進事業
- ・飛鳥Ⅱ寄港(H26.10.2)



分野別目標達成状況

2 産業
4 港を核とした産業の振興
(2) 中心市街地活性化の推進

担当課	評価ランク
産業振興課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年	平成30年
(修正) 空き店舗の活用件数 (平成21年度からの累計)	0件	4件	4件	9件

この分野における現状

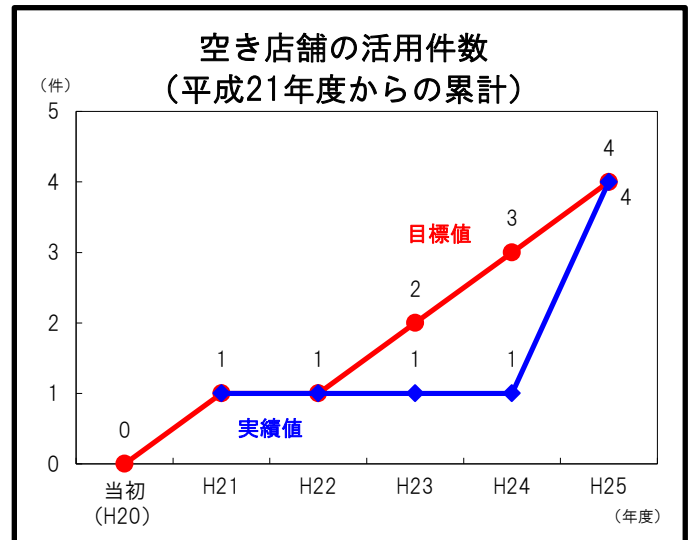
- ・人口減少
- ・モータリゼーションの進展
- ・郊外型大規模店舗の進出
- ・中心市街地の活力低下

目標達成に向けた具体的な課題

- ・人口減少による商圈縮小
- ・中心市街地の活力低下

平成26年度の主要事業

- ・シャッターオープン事業
- ・「ななお創業応援カルテット」による創業者への官民支援



担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
まちなかイベント入り込み客数	104,600人	116,183人	135,000人	160,000人

この分野における現状

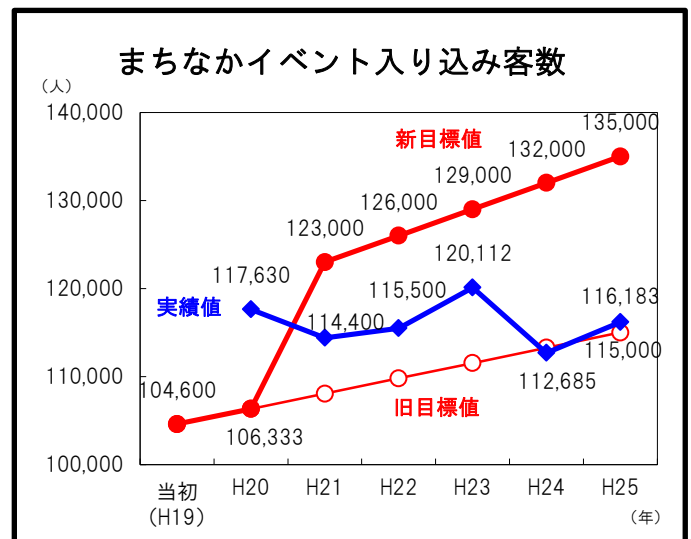
観光客等に特産品（新鮮な魚介類や水産加工品等）を販売し、市街地の飲食店（寿司等）にも波及するオリジナルメニュー（ランチ）を提供し、地域経済の活性化に取り組む。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・歴史文化、街並み、生活（暮らし）体験のメニューの充実を図る
- ・観光関連情報のワンストップ化
- ・二次交通の促進強化
- ・観光情報の提供やトイレ提供店舗の拡大の支援
- ・山の寺寺院群の魅力つけの支援

平成26年度の主要事業

- ・魅力あるイベントの開催（MJF、港まつり、花嫁のれん展）
- ・まちなか観光魅力アップ推進事業



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(1) 子どもの健全育成

担当課	評価ランク
子ども教育課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
学校の決まりを守っていないという小学生の割合	25.0%	9.9%	12.0%	10.0%

この分野における現状

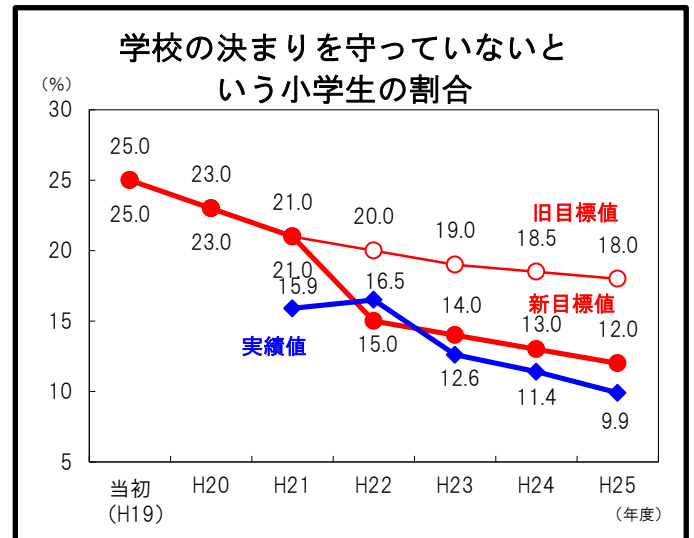
- ・子どもの規範意識や道徳心の低下
- ・核家族化と地域連帯感の希薄化
- ・子どもの体力・運動能力の低下と生活習慣の変化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・道徳教育等の充実
- ・保護者間における意識の格差解消
- ・基本生活習慣の定着
- ・子どもの集団活動の場の設定
- ・学級経営や生徒指導上の格差解消

平成26年度の主要事業

- ・人と地域を生かした道徳教育講座
- ・伸ばせ！七尾っ子プロジェクト
- ・地域で支える学校づくり事業



担当課	評価ランク
子ども教育課	A

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
将来の夢や目標がないという中学生の割合	32.0%	20.2%	21.0%	10.0%

この分野における現状

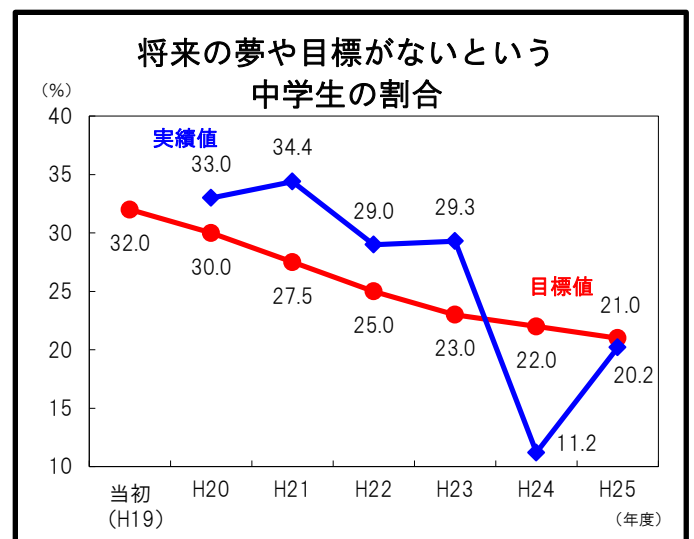
- ・核家族化による地域連帯感の希薄化
- ・子どもの規範意識や道徳心の低下
- ・子どもの体力・運動能力の低下と生活習慣の変化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・学習意欲の喚起
- ・地域・家庭における対話の促進

平成26年度の主要事業

- ・わく・ワーク体験事業（中学校2年生職場体験）



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(2) 教育環境の充実

担当課	評価ランク
子ども教育課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
中学校における不登校生徒の割合	3.22%	3.53%	2.00%	1.00%

この分野における現状

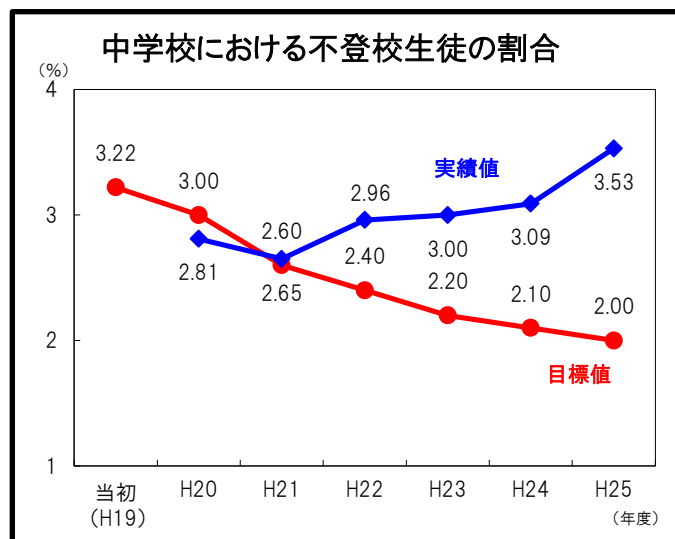
- ・生徒の置かれている環境の多様化
- ・生徒を取り巻くいじめ・不登校の背景の多様化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・的確な生徒理解と個別対応
- ・地域家庭における対話の促進
- ・学校に起因する不登校の未然防止
- ・各校への指導体制の強化

平成26年度の主要事業

- ・教育支援センター「わかたけ」の運営
- ・いじめ・不登校対策事業
- ・中一不登校問題対策事業



分野別目標達成状況

3 教育
1 子ども教育の充実
(3) 学校教育体制の強化

担当課	評価ランク
子ども教育課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	4教科	10教科	10教科	すべての教科

この分野における現状

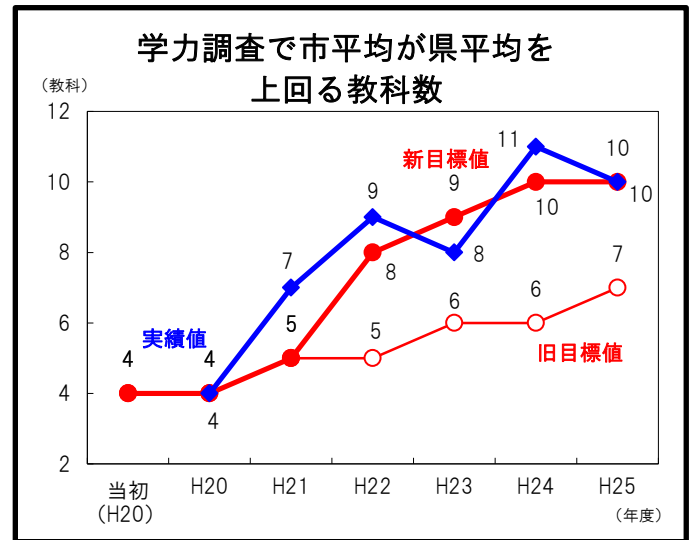
- ・基礎学力の向上
- ・教職員の資質向上

目標達成に向けた具体的な課題

- ・家庭学習の定着化
- ・児童生徒の生活習慣の改善
- ・学力の二極化に対する対応
- ・学校の指導体制の確立
- ・教師の格差解消
- ・学習スタイルの確立

平成26年度の主要事業

- ・七尾市学力向上・授業改善推進会議
- ・学校組織力向上研修会
- ・七尾市学力向上研究事業
- ・七尾市中高連携推進事業（英語力向上研修会）



担当課	評価ランク
子ども教育課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
授業に対する児童生徒の理解度	36.5%	48.6%	50.0%	70.0%

この分野における現状

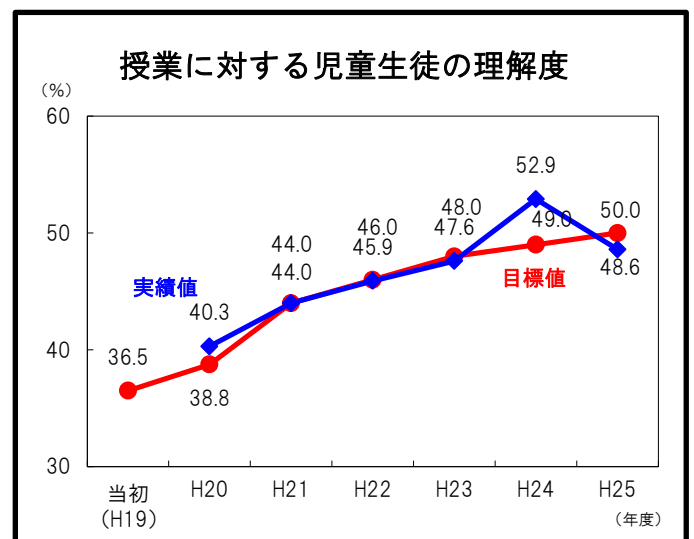
- ・基礎学力の向上
- ・活用力の向上
- ・教職員の資質向上

目標達成に向けた具体的な課題

- ・「わかる楽しい授業」の充実
- ・P D C Aサイクルによる個に応じた学習内容の確実な定着

平成26年度の主要事業

- ・授業力向上研修会
- ・七尾市学力向上・授業改善推進会議
- ・学力向上コンサルタントの活用



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(1) 生涯学習の推進

担当課	評価ランク
生涯学習 スポーツ課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
市民一人当たり年間公民館利用回数	3.8回	4.2回	4.2回	4.5回

この分野における現状

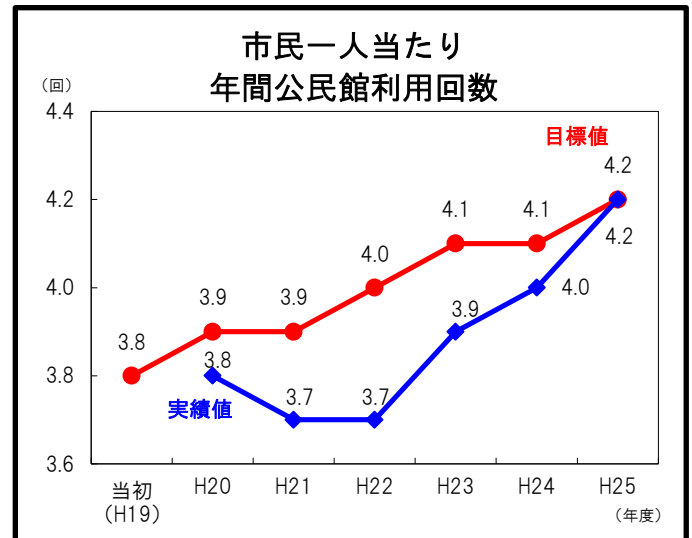
・生涯学習・社会教育・地域づくりを推進し、実践活動の情報交換や研究協議を行いながら、交流を深め、探究し、活動の一層の充実と発展を図っている。

目標達成に向けた具体的な課題

ニーズに応じた地域づくりやコミュニティづくりの活動拠点の活用。人間関係の希薄化、少子化、地域社会構造の変化等により、職員の更なる資質向上・学習活動機会の充実、講座等の在り方について見直しが必要

平成26年度の主要事業

- ・公民館自主活動支援事業
- ・公民館管理運営事業
- ・公民館連絡協議会運営事業
- ・市民大学講座開催事業



担当課	評価ランク
中央図書館	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
市民一人当たり年間利用冊数	6.2冊	6.8冊	7.0冊	8.0冊

この分野における現状

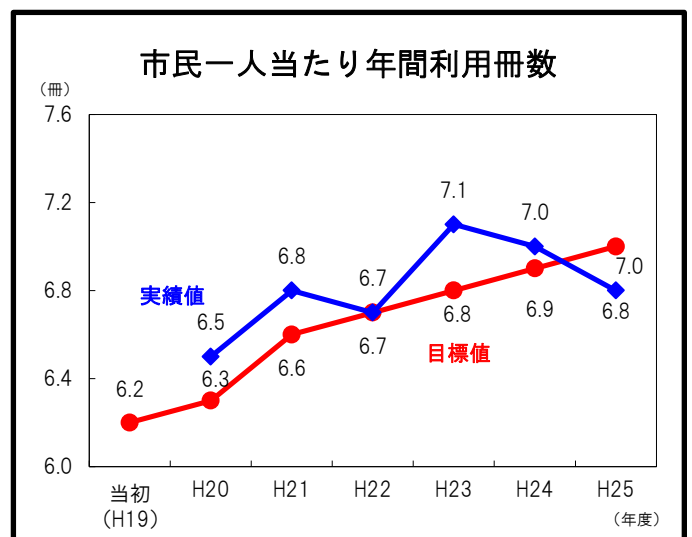
利用冊数は、目標ラインを下回っている。活字離れ、余暇の過ごし方の多様化、利用者の定着化が原因として考えられる。時代に対応した図書館づくりが必要。

目標達成に向けた具体的な課題

- 1、管理運営体制の構築
基本運営方針、指標・目標、事業計画の策定
- 2、子どもの読書活動推進計画の推進
関係機関との情報共有、読書環境整備

平成26年度の主要事業

- ・地域の情報拠点としての図書館づくり
- ・子どもの読書活動推進事業
- ・より利用しやすい図書館づくり



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(2) スポーツの振興

担当課	評価ランク
生涯学習 スポーツ課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成26年度	平成30年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率 (市民アンケート)	23.1%	19.8%	40.0%	50.0%

この分野における現状

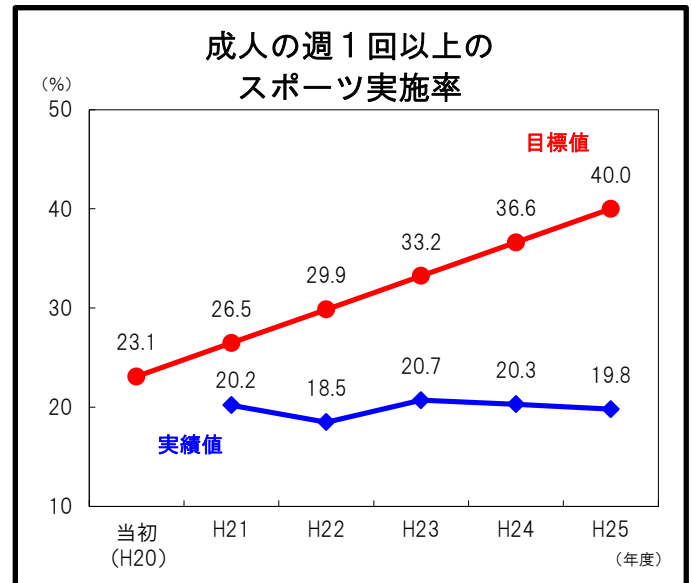
- ①全国的にスポーツを通しての健康づくりが高まりを見せている。
- ②マラソン、ウォーキングなどスポーツの取り組み方は多種多様化してきている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ①当市にある総合型地域スポーツクラブや各種団体等と連携し、誰もがスポーツに取り組みたくなる環境づくりが必要。
- ②健康推進課と連携し、健康づくりにスポーツを取り入れる。
- ③スポーツ推進委員と連携してスポーツを推進する。

平成26年度の主要事業

- ①B & G北陸ブロックスポーツ交流大会
- ②第11回市民体育大会
- ③第10回市民スポーツ・レクリエーション祭



分野別目標達成状況

3 教育
2 生涯学習・スポーツの振興
(3) 国際交流の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
姉妹・友好都市との交流人口	149人	101人	160人	170人

この分野における現状

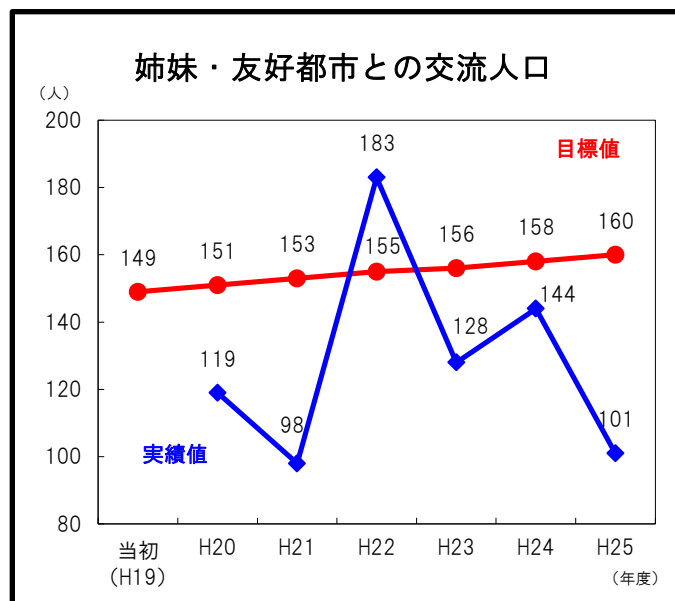
・ 姉妹都市等の交流事業と市内在住外国人との多文化が共生する地域づくり

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 幅広い分野における市民交流の促進
- ・ 多文化共生社会の実現へ向けての促進
- ・ 各担当課との連携
- ・ 国際交流協会との連携

平成26年度の主要事業

- ・ 金泉市文化院来訪交流事業
- ・ 七尾市国際交流協会金泉市訪問研修
- ・ 七尾市国際交流協会15周年記念事業
- ・ 多文化共生推進事業（サラダボウルサロン）
- ・ ジュニアウィングスプログラム（派遣・受入）



分野別目標達成状況

3 教育
3 人権尊重・男女共同参画の推進
(1) 人権尊重の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
お互いの“ちがいを認め合い、人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合 (市民アンケート)	23.4%	22.3%	26.0%	26.0%

この分野における現状

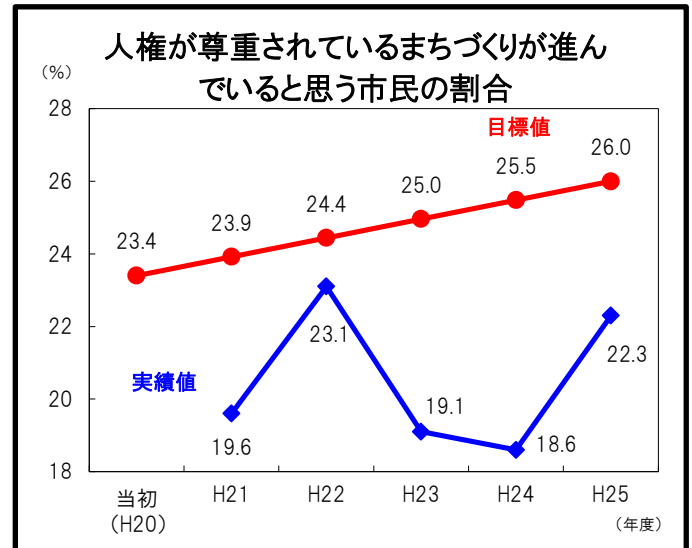
小中学校児童生徒を対象にした人権擁護標語募集や法務局及び人権擁護委員との連携により保育園、小中学校、街頭等での啓発活動を定期的に行う。また、民生児童委員と人権擁護委員により毎週水曜日に市民相談を受け市民の安心安全に努める。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ いじめや虐待、DV等の人権侵害が絶えない。インターネットによる人権問題が発生している。
- ・ 市民相談が複雑、多様化している。市民へ相談事業の周知を図る。

平成26年度の主要事業

- ・ 小中学生人権擁護啓発標語募集
- ・ 市民のつどい人権啓発講演会開催
- ・ 法務局、人権擁護委員との連携による人権啓発活動
- ・ 人権学習用DVD無料貸出



分野別目標達成状況

3 教育
3 人権尊重・男女共同参画の推進
(2) 男女共同参画の推進

担当課	評価ランク
市民男女協働課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
男女共同参画が進んでいると思う市民の割合 (市民アンケート)	27.8%	25.2%	31.0%	33.0%

この分野における現状

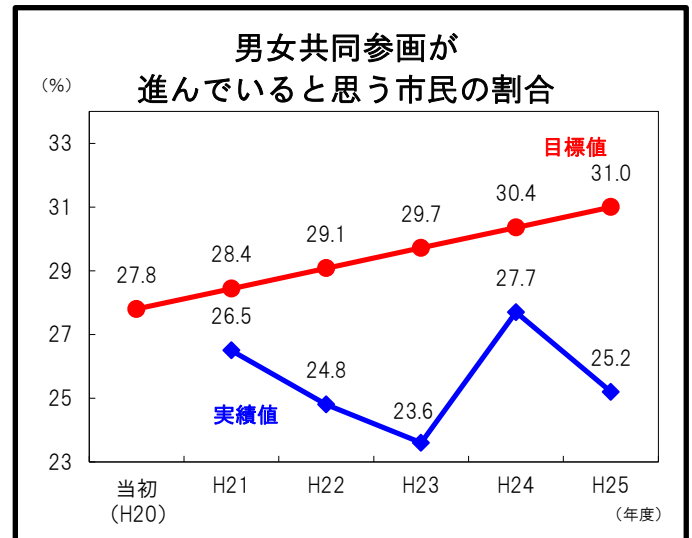
市民や市民団体等には男女共同参画社会の必要性も、浸透しつつあり、公的な審議会等の女性の登用率も向上しているが、全体的にはまだ理解されていない部分がある。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 審議会等の女性の登用率の向上
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた意識の改革
- ・ 家庭、地域、職場、学校における男女共同参画の促進
- ・ 男女がいそいそと活動できる環境づくり

平成26年度の主要事業

- ・ 七尾市男女共同参画第2次プランの推進
- ・ 男女共同参画推進団体の研修会の開催
- ・ 男女共同参画啓発の実施（市内企業等）
- ・ 公民館等出前講座の充実



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
1 歴史・伝統文化の振興
(1) 歴史・文化遺産の保全と活用

担当課	評価ランク
文化課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合 (市民アンケート)	53.6%	52.4%	58.6%	60.0%

この分野における現状

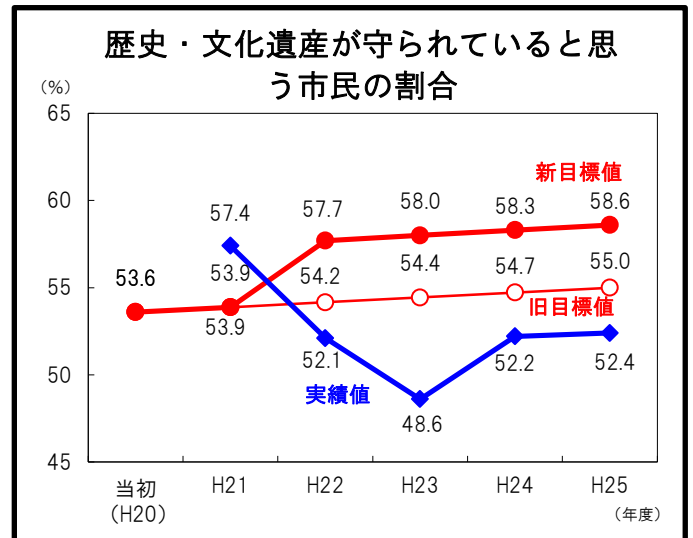
・H25市民アンケートでは、「歴史・文化遺産」の充実度が34項目中3位と高い反面、重要度は34項目中29位と低い。

目標達成に向けた具体的な課題

・「歴史・文化遺産」が過去のものでなく、現在においても活用すべき重要な資産であるとの認識を普及する啓発の取り組み。

平成26年度の主要事業

- ・七尾学推進事業 (第6回七尾検定)
- ・文化財保存事業 (赤蔵山等の文化財修理事業補助)
- ・博物館建設事業 (基本計画の策定)
- ・史跡七尾城跡土地買い上げ事業 (3.6ha)



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
1 歴史・伝統文化の振興
(2) 伝統的祭り行事の振興

担当課	評価ランク
観光交流課	C

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
七尾四大祭り入り込み客数	204,000人	166,500人	250,000人	300,000人

この分野における現状

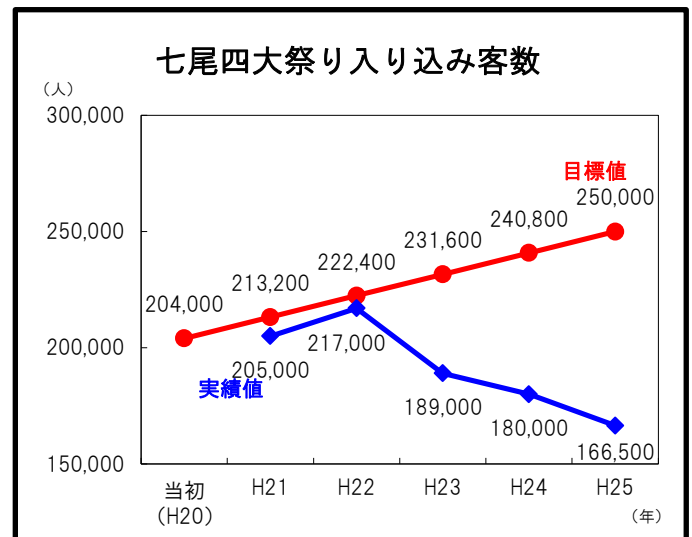
祭り情報を全国に発信し、祭りを核とした旅行商品による誘客促進に取り組んでいる。観光客のニーズが多様化に対応するため、祭りガイドを育成し、受入体制の強化を図る必要がある。また、無形文化財の後継者育成や地域の伝統的祭りを支援し、祭り行事の継承・発展に努める。青柏祭の悪天候により入込み減。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・祭り・イベントの共同PRを実施し、市外からの観光客の誘客
- ・地域の観光資源を活かした年間を通じての周遊観光コースの開発
- ・観光客の受け入れ体制の充実（祭りガイドの養成等）
- ・観光ブースの出展
- ・旅行雑誌掲載（雑誌編集記者の招へい）

平成26年度の主要事業

- ・青柏祭でか山、石崎奉燈祭、向田の火祭、お熊甲祭開催経費補助
- ・青柏祭PRキャラバン隊の実施
- ・PRリーフレットの作成、配布
- ・運営ボランティア職員の配置



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
2 芸術文化の振興
(1) 優れた芸術・文化体験の創出

担当課	評価ランク
文化課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
七尾美術館観覧者数	23,348人	30,643人	38,000人	41,000人

この分野における現状

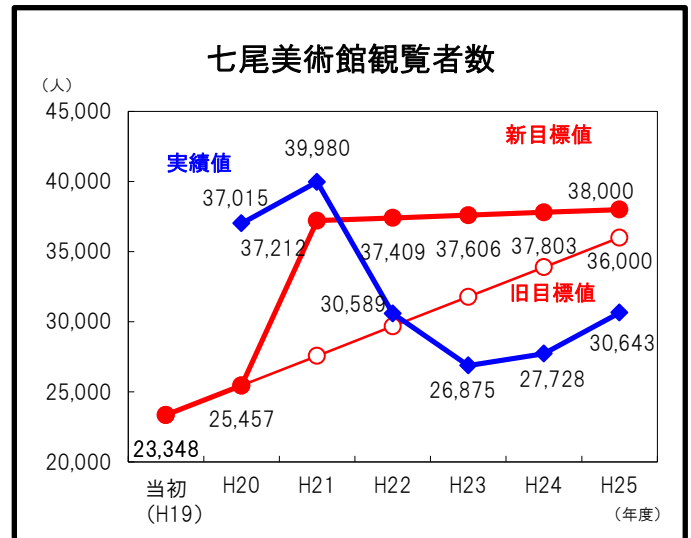
等伯人気上昇中、作品保護の観点から等伯作品の常設展示は難しいが、能登で唯一の総合美術館であることの意義と施設の特徴を活かし、所蔵品の活用や幅広いジャンルで魅力あるシリーズ展を継続開催していく。但しその他の企画展の内容によって入館者が大きく増減する。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・観覧者数増に繋がる魅力的な展覧会の企画、開催。
- ・効果的なPR活動。
- ・学校や保育園等と連携し、団体鑑賞の実施による教育普及活動の更なる推進。

平成26年度の主要事業

「長谷川等伯展～その多彩な画業」「第70回記念現代美術展」「池田コレクション」「等伯に続く長谷川派の画家たち」「2014イタリアポローニャ国際絵本原画展」「われら、能登ブランド絵師～近世に活躍したゆかりの画家」「漆芸と陶芸」「石川県の彫刻作家展」



担当課	評価ランク
文化課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
能登島ガラス美術館観覧者数	43,078人	41,388人	55,000人	60,000人

この分野における現状

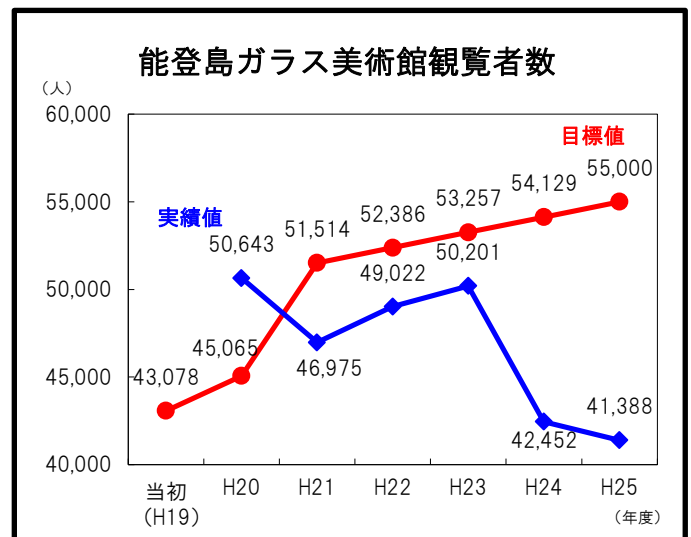
・来館者には好評であった体験型展覧会や庭園を活かしたアートイベント等を実施したが入館数増に繋がらなかった。
・全国的に、他の観光地（スカイツリー、九州新幹線）の話題性が強く反映している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・来館者のニーズを取り入れた展覧会事業の企画・実施
- ・外部団体等と連携した教育普及事業の企画・実施
- ・市民に親しまれる美術館づくり
- ・効果的なPR活動 ・リピーター率の向上を図る。

平成26年度の主要事業

「香とファッションの美学展～香水瓶が魅せる美の世界～」 「ガラスの科学展～美しき造形の秘密～」 「THE ALFEE坂崎幸之助ガラスコレクション展」 「能登島ガラスコレクション展」



分野別目標達成状況

4 芸術・文化
2 芸術文化の振興
(2) 地域に根ざした演劇文化の振興

担当課	評価ランク
文化課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
能登演劇堂鑑賞者数	19,231人	44,366人	24,000人	28,800人

この分野における現状

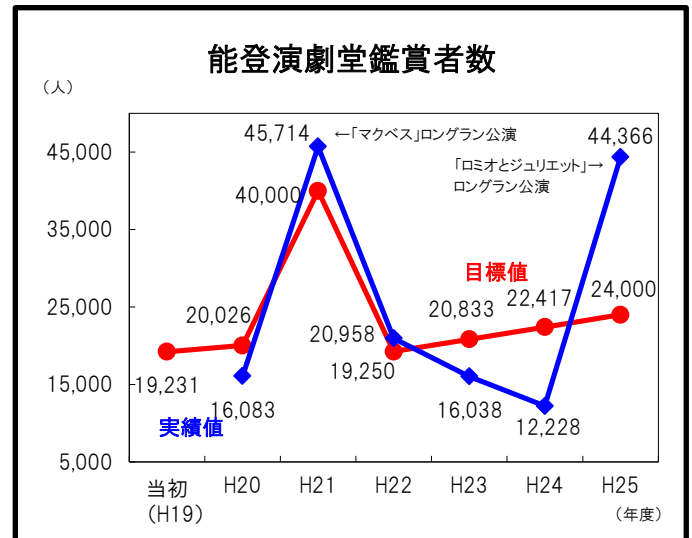
利用者は、公演事業と一般事業に分かれ、経営の軸となるのは財団の自主事業である主催公演の充実である。観客数を維持し、更に増加を図るには、公演日数を多くし広域的誘客をしなければ達成できない。鑑賞者数の増は無名塾のロングラン公演による。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・広域的誘客ができる公演回数を持った事業を増やしていく企画をする。
- ・友の会会員獲得に努める。
- ・貸館事業の誘致を図る。

平成26年度の主要事業

一般公演「仲代達矢『役者』を生きる」「銀河鉄道の夜」「野村萬斎と若村麻由美の世界～狂言と平家物語～」 「飛龍伝」 「ミュージカル～ブッダ～」 「骨まで愛して」
友の会公演「日本の面影」「無名塾～バリモア～」 「黄昏にロマンス」「夢千代日記」



分野別目標達成状況

5 自然環境
1 自然環境・景観の保全
(1) 自然環境の保全

担当課	評価ランク
環境課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
七尾市の豊かな自然環境が守られていると思う市民の割合 (市民アンケート)	41.3%	44.1%	50.0%	60.0%

この分野における現状

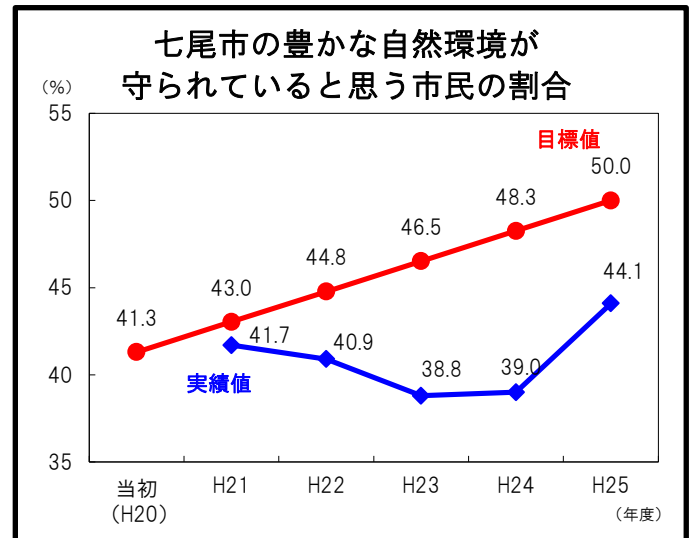
・七尾市は、豊かな自然環境と調和して人々の暮らしが営まれてきた。しかし、近年、産業構造の変化や開発等の影響により、農地や山林、水辺環境への環境が問題になっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・身近な自然環境の保全
- ・地域固有の生物の生育環境の保護
- ・市民主体の環境共生、ふれあい活動の推進

平成26年度の主要事業

- ・水質調査(海域、河川、湖沼、地下水、名水)
- ・七尾市野生動植物生息等調査委員会による調査
- ・水生生物調査



分野別目標達成状況

5 自然環境
1 自然環境・景観の保全
(2) 魅力ある景観の形成

担当課	評価ランク
都市建築課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
七尾らしい魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合（市民アンケート）	32.7%	42.4%	40.0%	45.0%

この分野における現状

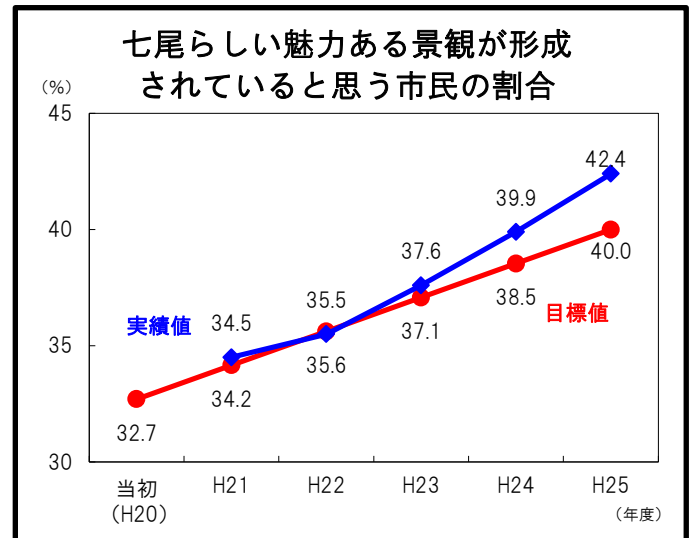
経済活動に伴う開発や建物の建替え等で、年々七尾らしい景観が失われてきている。七尾市景観計画に基づき規制誘導を行っている。

目標達成に向けた具体的な課題

・里山里海の世界遺産認定を契機に景観に対する意識は高まってきているが、守るべき景観とは何か、何をすればいいのかがわからず、具体的な景観活動につながっていない状況である。

平成26年度の主要事業

- ・景観まちづくり活動支援事業
- ・屋外広告物等修景促進事業
- ・景観計画の変更（特別地域追加指定）



分野別目標達成状況

5 自然環境
2 地球環境の保全
(1) 地球温暖化対策の推進

担当課	評価ランク
環境課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
家庭において温暖化防止対策の取り組みにより削減したCO ₂ の量	10,606kg	78,330kg	97,129kg	117,129kg

この分野における現状

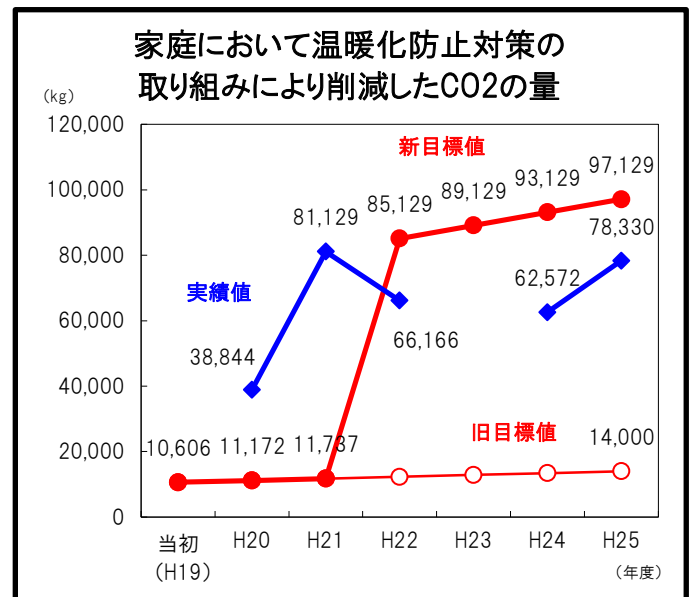
- ・平成18年度から、石川県エコライフ大作戦に参加。
- ・平成24年度から、いしかわ版環境ISO省エネ・節電アクションプランに参加。
- ・年度により、二酸化炭素削減にかかる取り組み内容が異なる

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地球温暖化対策に向けた実践活動の目的、及び内容の周知徹底
- ・地球温暖化に対する意識の醸成
- ・県民エコライフ大作戦の事業廃止(平成23年度～)により、平成23年度は集計不能
- ・省エネ節電アクションプラン(平成24年度～)は、電気使用に関する取組みでエコライフ大作戦との数値の比較ができない。

平成26年度の主要事業

- ・省エネ・節電アクションプランへの参加
- ・いしかわクールシェア対象施設の推進



分野別目標達成状況

5 自然環境
2 地球環境の保全
(2) 循環型社会の形成

担当課	評価ランク
環境課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
リサイクル率	18.6%	18.2%	20.2%	25.0%

この分野における現状

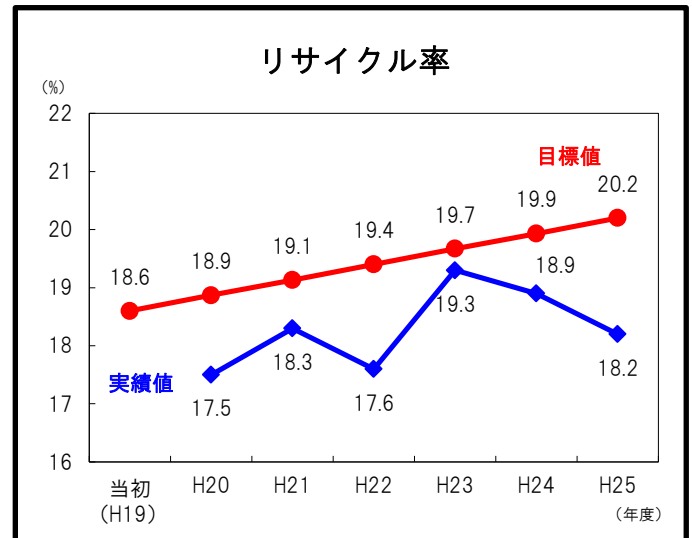
・ごみ全体の量は減少傾向であり、資源ごみについても昨年度（H24年度）に対し減少している。

目標達成に向けた具体的な課題

・市民へのリサイクル促進の啓発
 ・可燃ごみや埋立ごみに混入されている資源物の徹底した分別

平成26年度の主要事業

・資源ごみ集積所「え〜こ屋」の設置事業
 ・資源物回収事業推進奨励金交付事業
 ・小型家電28品目分別変更（埋立ごみ→金物類）



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(1) 子育て支援体制の充実

担当課	評価ランク
子育て支援課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う市民の割合（市民アンケート）	30.6%	34.0%	40.0%	50.0%

この分野における現状

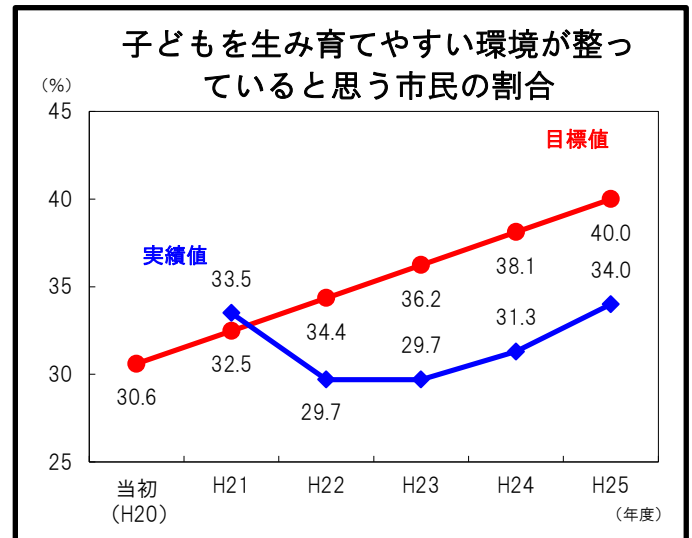
- ・核家族化が進展しており、保育のニーズはますます多様化している。
- ・離婚に伴うひとり親家庭が増加傾向にある。
- ・市内の公立、私立すべての保育園で延長保育、一時預かりを実施している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・保育ニーズの多様化への対応
(休日保育実施箇所の増、延長保育の拡充等)
- ・子育てにかかる経済的負担の軽減
(保育料軽減、子ども医療費助成制度拡充等)
- ・ひとり親家庭の増加への対応（ひとり親家庭支援制度の拡充）

平成26年度の主要事業

- ・特別保育事業
(一時預かり、延長保育、休日保育、病児保育等)
- ・認定こども園事業
- ・放課後児童クラブ事業
- ・子ども医療費助成事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(2) 子ども親も共に育つ環境づくりの推進

担当課	評価ランク
子育て支援課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
子育て支援拠点施設利用人数	16,754人	25,747人	24,500人	24,500人

この分野における現状

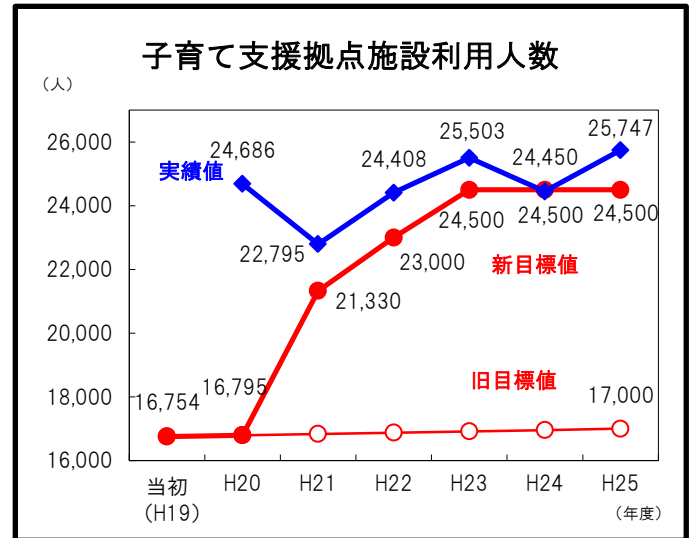
- ・核家族化などにより、子どもたちが集団で遊ぶ機会が減少している。
- ・子育てに係るストレスや家庭における養育力の低下が見られる。
- ・平成20年度から七尾サンライフ児童センターを子育て支援拠点施設として運用している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・子育て拠点施設の機能の充実
(地域へ出向いての出張ひろばの実施等)
- ・利用しやすい環境づくり(施設の改修、対象世帯への啓発活動)
- ・地域の子育て力を高める取り組みの実施
(ボランティア等の人材育成と活動支援)

平成26年度の主要事業

- ・子育て拠点事業(地域子育て支援センター)
- ・みらい子育てネット(母親クラブ)運営事業
- ・児童館管理運営事業
- ・児童公園管理事業
- ・ファミリーサポートセンターの運営



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
1 子育て・子育て環境の充実
(3) 母子保健の充実

担当課	評価ランク
健康推進課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 育児の心配・困りごとがある保護者の割合	12.1%	17.7%	10.0%	8.0%

この分野における現状

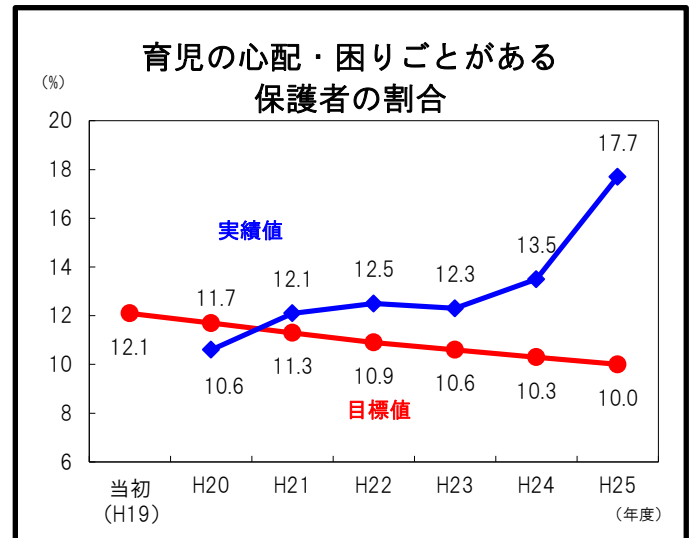
核家族化の進行等により、身近に相談相手や支援する人がおらず、育児に関する不安から子育てのストレスに繋がりがやすい。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・初めての子育てによる育児不安の解消
- ・子どもの成長に伴う育児不安の解消
- ・保護者の育児力の育成
(子どもの発達の理解と対応に対する学習が不足している)

平成26年度の主要事業

- ・こんには赤ちゃん訪問事業
- ・養育支援家庭訪問事業
- ・母の相談日
- ・のびのび教室(7か月児)
- ・すくすく相談
- ・ゆったり子育て相談



担当課	評価ランク
健康推進課	B

指標名	当初 (平成22年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
(修正) 毎日朝食を食べる習慣のある子どもの割合	92.9%	98.7%	100.0%	100.0%

この分野における現状

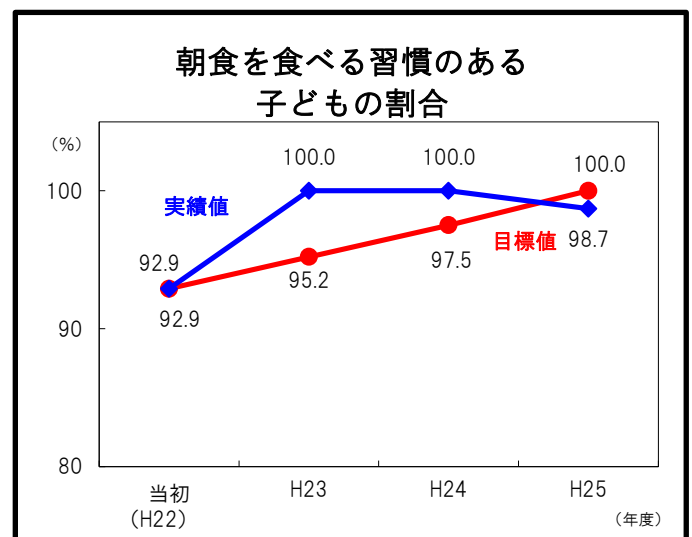
毎日朝食を食べる習慣のある子どもは定着したが、食事内容(主食のみ、菓子パン、菓子類)や環境(孤食)に課題がある。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・保護者が「食べる」ことの大切さを認識し、「食」を通して子どもを育てる。
- ・子どもが3食摂取の習慣を身につける。
- ・食事内容と環境の改善

平成26年度の主要事業

- ・保育園等における食育
- ・3歳児健診での食指導
- ・子育て相談での食指導
- ・もぐもぐ教室(10か月児)



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
2 健康づくり・医療の充実
(1) 生涯を通じた健康づくりの推進

担当課	評価ランク
健康推進課	C

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
肥満の割合 (BMI 25以上) : H20~七尾市 国保特定健康診査	32.0%	28.7%	22.0%	12.0%

この分野における現状

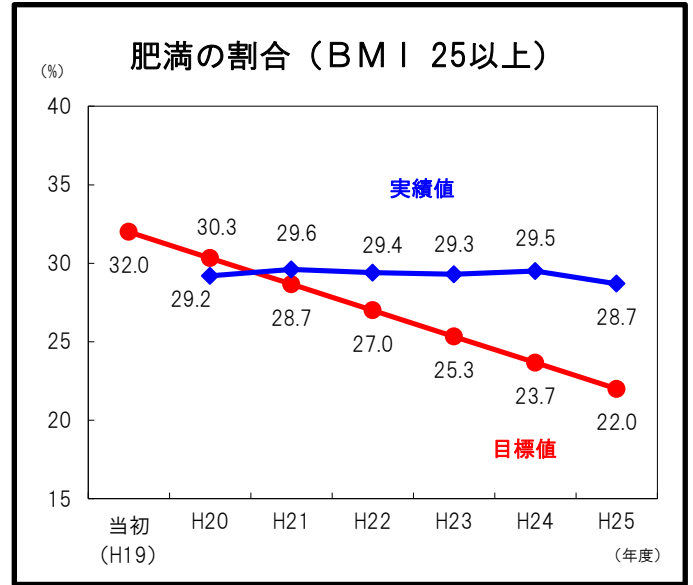
肥満の割合 BMI 25以上	
H20年度(確定値)⇒29.2%	ワースト1位/県内19市町
H21年度(確定値)⇒29.6%	ワースト4位/県内19市町
H22年度(確定値)⇒29.4%	ワースト3位/県内19市町
H23年度(確定値)⇒29.3%	ワースト3位/県内19市町
H24年度(確定値)⇒28.5%	ワースト3位/県内19市町

目標達成に向けた具体的な課題

健康教室や個別保健指導を実施しているが、生活習慣改善意識には個人差がある。また、個々に生活習慣、食生活が異なるため、今後は、個々に応じた保健指導等に重点を置く必要がある。

平成26年度の主要事業

- ・健康相談事業
- ・特定保健指導事業
- ・訪問指導事業
- ・各地区健康教室
- ・生活習慣改善教室



担当課	評価ランク
健康推進課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
ストレスを感じている市民の割合 (市民アンケート)	76.2%	67.7%	65.0%	50.0%

この分野における現状

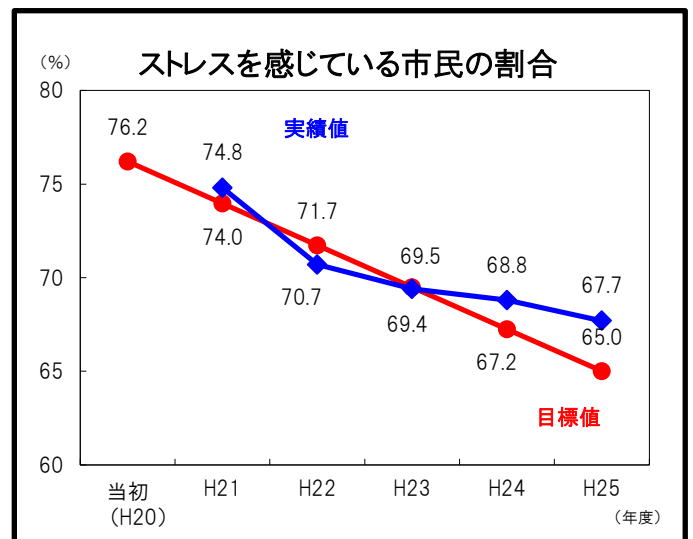
・家庭や職場、対人関係などにおいて、多くの市民はストレスを抱えて生活しています。近年、多様化、複雑化する社会の中でストレスが増大し、心の健康を崩す市民が増えている。

目標達成に向けた具体的な課題

・家族や周囲の人の心の変化に気づき、声かけ、傾聴、(関係機関に)つなぎ、見守る、命の門番であるゲートキーパーの普及浸透が必要である。

平成26年度の主要事業

- ・心の相談事業
- ・こころの健康づくり教室
- ・心の健康スクリーニング
- ・訪問指導事業
- ・メンタルヘルス講演会
- ・ゲートキーパー普及事業



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
2 健康づくり・医療の充実
(2) 医療体制の充実

担当課	評価ランク
保険課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
医療体制が充実していると思う市民の割合 (市民アンケート)	49.8%	59.3%	60.0%	62.0%

この分野における現状

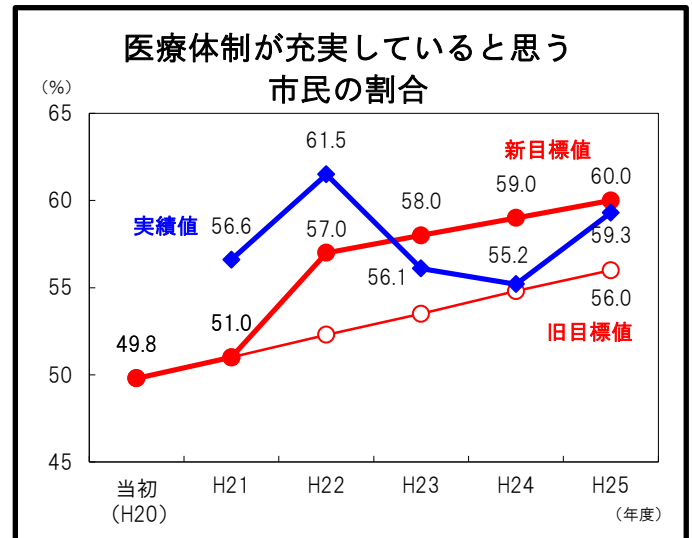
- ・ 深刻な医師不足による地域医療の停滞
- ・ 医療費の増大
(国民健康保険・後期高齢者医療保険)

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 保健活動の強化(特定健診・特定健診未受診者対策・腎疾患対策・重複多受診指導)
- ・ ジェネリック医薬品の普及促進

平成26年度の主要事業

- ・ 七尾市国民健康保険直営診療所の運営(能登島診療所、鉦打診療所)
- ・ 公立能登総合病院の運営支援
- ・ 第2期特定健康診査等実施計画策定



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
3 高齢者福祉の充実
(1) 高齢者の自立と社会参加の促進

担当課	評価ランク
福祉課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
「いきがい」を感じて日常生活を送っている高齢者の割合（市民アンケート）	63.4%	65.6%	65.0%	70.0%

この分野における現状

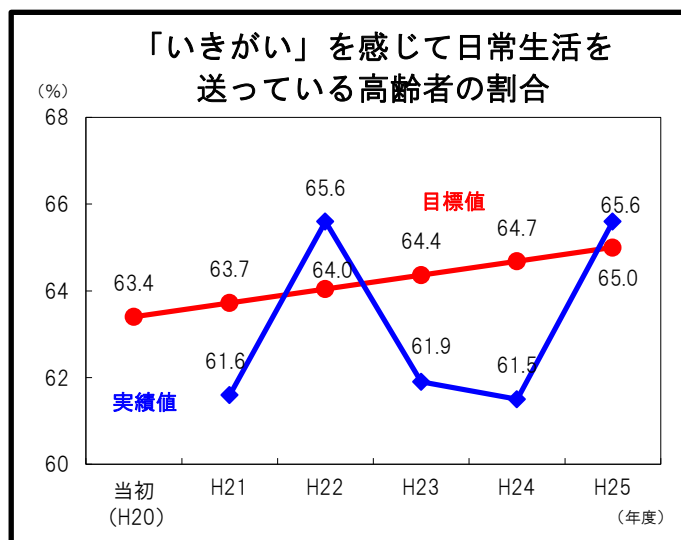
- ・高齢者の自主活動として、老人クラブが104クラブ活動中。
- ・また、高齢者グループデイが10グループ活動中。
- ・高齢者が活躍できる場として、シルバー人材センターでの活動が挙げられる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・高齢者が自身の知識や経験を活かし、活躍できる場の拡大
- ・高齢者が身近な場所でいきいきと活動できる場の充実
- ・高齢者の健康づくりの推進
- ・高齢者が安全に安心して生活できる環境づくり
- ・高齢者の権利擁護の啓発、相談体制の充実

平成26年度の主要事業

- ・グループデイ事業等の介護予防事業
- ・認知症などの要援護高齢者支援事業
- ・生涯現役推進事業
- ・就労や軽スポーツを通じての生きがいの高揚
- ・地域で気軽に参加できる機会や活動の場づくり



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
3 高齢者福祉の充実
(2) 介護支援体制の充実

担当課	評価ランク
保険課	特A

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
要介護・要支援認定率	17.4%	18.5%	20.4%	22.0%

この分野における現状

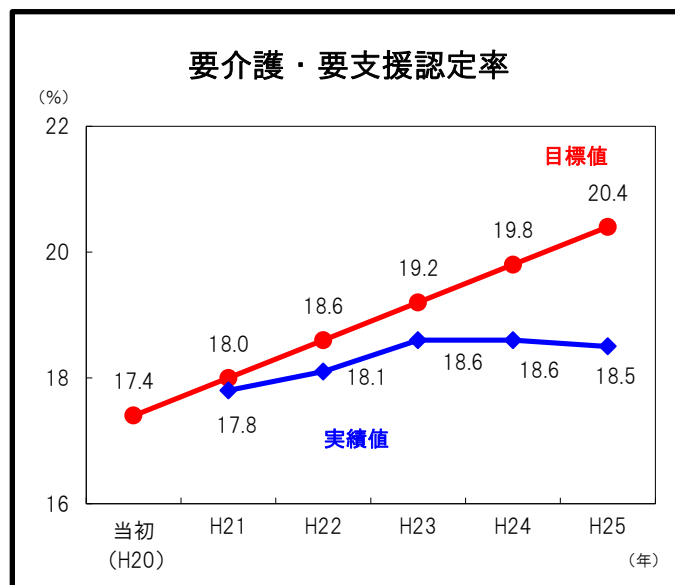
・要介護・要支援認定者は、年々増加しており、介護給付費も年々増加している。
 ・介護予防や在宅介護支援、高齢者の総合相談窓口機能の充実にむけ取り組んでいる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・介護予防対象者の早期把握及び介護予防事業の充実
- ・市民、事業所等の自立支援への意識改革
- ・地域包括支援センター機能の充実

平成26年度の主要事業

- ・二次予防事業の対象者の把握事業
- ・介護予防事業(二次予防事業、一次予防事業)
- ・介護予防地域サポーター養成事業
- ・家族介護支援事業
- ・地域包括支援センター運営事業



※実績値の数値が低ければ目標達成率が良い。

分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
4 障害者福祉の充実
(1) 障害者の自立と社会参加の促進

担当課	評価ランク
福祉課	C

指標名	当初 (平成19年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
障害者雇用率	1.89%	1.73%	2.00%	2.20%

この分野における現状

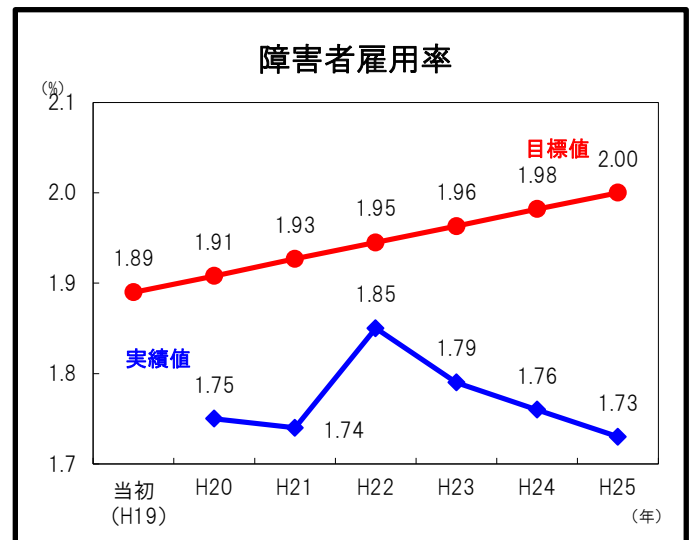
・七尾・中能登地区の雇用情勢は改善してきているものの、障害者雇用にまでは及んでいない。
 ・障害者雇用率を上昇させるための障害者の就労支援制度を運用するなどの取り組みを継続実施している。

目標達成に向けた具体的な課題

・公共職業安定所との連携をさらに図り、障害者雇用枠での採用や職場実習の受け入れについて各企業経営者に理解を求める。
 ・障害の特性を理解してもらうための啓発を行う。

平成26年度の主要事業

・七尾市・中能登町地域自立支援協議会の取組推進（企業説明会、職場体験実習制度の導入、模擬面接会の実施）
 ・障害者福祉団体連絡協議会との連携強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
4 障害者福祉の充実
(2) 生活支援体制の充実

担当課	評価ランク
福祉課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
障害者が暮らしやすい環境が整っていると思う市民の割合（市民アンケート）	23.6%	22.9%	37.0%	51.0%

この分野における現状

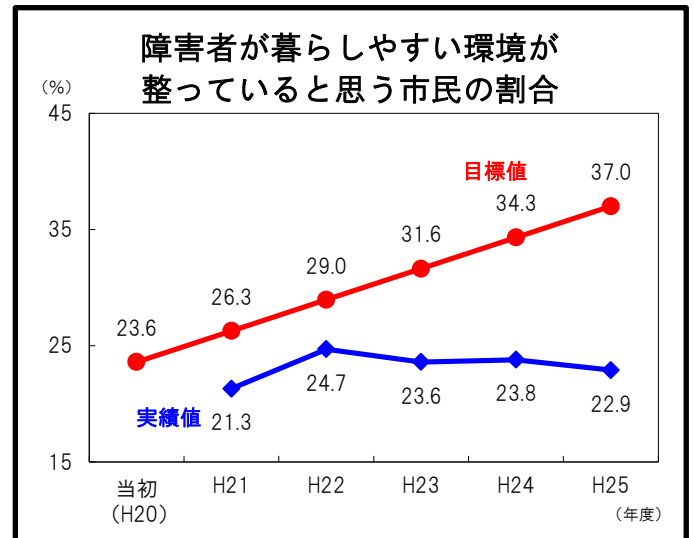
- ・建物のバリアフリーや歩道の点字ブロックなどハードの整備については徐々に進んでいる。
- ・障害者の抱く不安や感じている不便さを理解する「心のバリアフリー」の啓蒙を重要視している。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・障害当事者が参加する協議会や各種団体で環境整備が進んでいない分野について協議する。
- ・各家庭や職場、学校等での諸問題を総合的に克服する体制づくりが急務である。

平成26年度の主要事業

- ・手話通訳者の設置によるコミュニケーション支援
- ・地域における障害者の生活支援の実施
- ・七尾市・中能登町地域自立支援協議会の運営強化
- ・障害者福祉団体連絡協議会との連携強化



分野別目標達成状況

6 健康・福祉・医療
5 地域福祉・生活保障の充実
(1) 地域福祉の充実

担当課	評価ランク
福祉課	S

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
支え合い、助け合うという意識が地域にあると思う市民の割合（市民アンケート）	44.0%	51.0%	48.0%	58.0%

この分野における現状

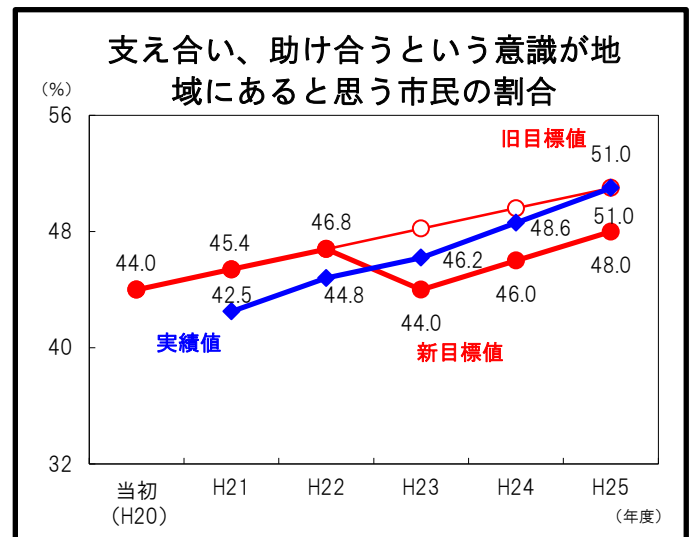
・人口減少や少子高齢化などが進んでいる中で、地域の支え合う力が弱まる傾向にある。
 ・日々の暮らしで、ゴミ出しや電球の交換が難しいといった、生活・福祉課題を持つ人が増える傾向にある。

目標達成に向けた具体的な課題

・町会単位を基本とした地域福祉ネットワークの構築
 ・住民が主体となって様々な生活・福祉課題に取り組むための支援法
 ・課題に対応するための支援体制と福祉サービスの充実

平成26年度の主要事業

・地域福祉ネットワークの組織化の推進
 ・平成26年度地域住民の支え合い活動支援事業
 ・支え合いマップづくり事業の推進



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
1 防災対策の充実
(1) 防災体制の整備

担当課	評価ランク
防災交通課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
自主防災組織数	12町会	207町会	80町会	251町会

この分野における現状

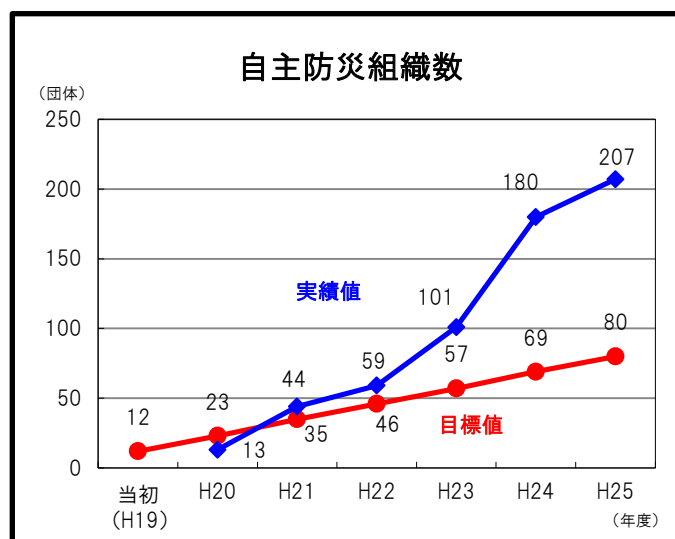
・東日本大震災以降、自主防災組織の結成率が急激に伸びている。現在、自主防災組織の結成率は約82%である。(H26.3末現在)

目標達成に向けた具体的な課題

- ・活動に対する住民意識の不足
- ・高齢化や昼間の活動要員の不足
- ・防災リーダーの不足
- ・地域における防災士の役割の明確化

平成26年度の主要事業

- ・防災倉庫及び防災資機材等における財政支援
- ・自主防災組織における防災訓練の支援



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
2 住環境の充実
(1) 住宅・緑地の整備

担当課	評価ランク
都市建築課	C

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
良好な住環境が形成されていると思う市民の割合 (市民アンケート)	38.6%	34.4%	45.0%	50.0%

この分野における現状

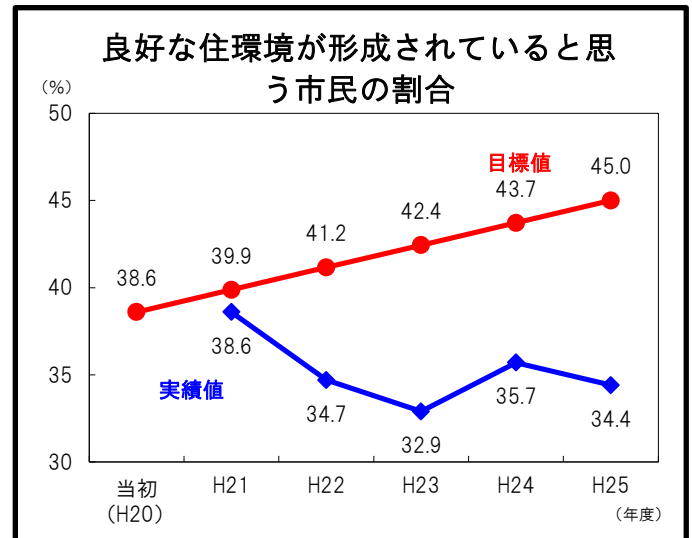
安心安全のベースとなる、防災上必要な6m道路に接していなかったり、憩いの場となる公園や緑地が十分とはいえない宅地が多い。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 既存住宅地で新規公園等の整備は困難であり、既存公園等も老朽化が進み、有効活用がされていない。
- ・ 住宅需要の減少と多様化で新市街地での宅地化が進んでいない。

平成26年度の主要事業

- ・ 七尾市万行地区土地区画整理事業
- ・ さくらの名所づくり推進事業
- ・ 住宅取得奨励金



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
2 住環境の充実
(2) 防犯・交通安全対策の充実

担当課	評価ランク
防災交通課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
自主防犯組織数	20団体	32団体	25団体	35団体

この分野における現状

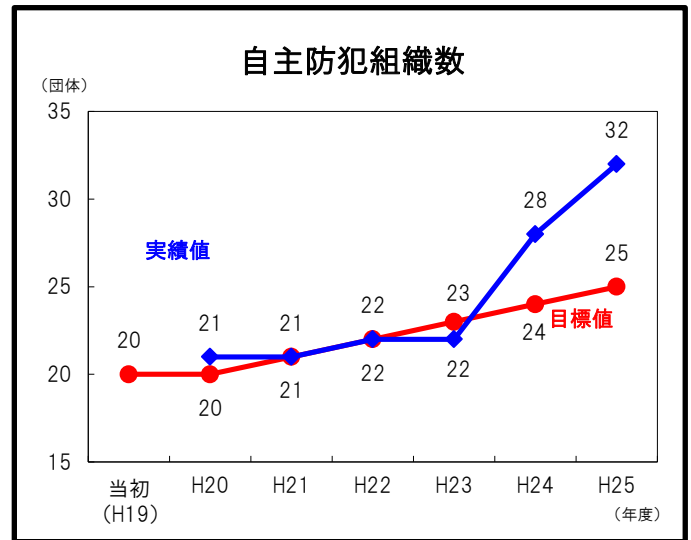
・組織としては、七尾鹿島防犯協会に所属する防犯委員会及び、各小学校に所属する見守りっこ隊が存在する。それ以外に、町会の活動として組織している団体があるが、その部分については把握できていない。

目標達成に向けた具体的な課題

市内、22公民館単位ごとに組織化された自主防犯組織の設立。

平成26年度の主要事業

- ・鍵掛けキャンペーン
- ・地域防犯リーダー育成研修会
- ・振込め詐欺被害防止広報



担当課	評価ランク
防災交通課	S

指標名	当初 (平成20年)	現状 (平成25年)	平成25年	平成30年
交通事故発生件数(人身事故)	229件	134件	200件	100件

この分野における現状

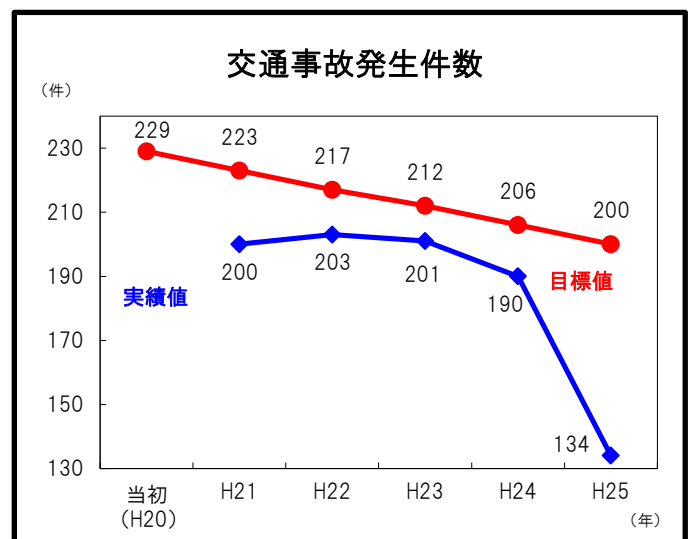
・交通事故発生件数は対前年比 56件減

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ドライバーのマナー・モラルの向上
- ・夜行反射材の着用促進
- ・道路交通法改正に伴う自転車常用者の交通ルールの遵守

平成26年度の主要事業

- ・幼児交通安全教室
- ・高齢者交通安全教室
- ・交通安全各種キャンペーン
- ・高齢者運転免許証自主返納事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(1) 環境衛生の推進

担当課	評価ランク
環境課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
1人1日当たりのごみ排出量	1,171g/人・日	1,051g/人・日	1,026g/人・日	995g/人・日

この分野における現状

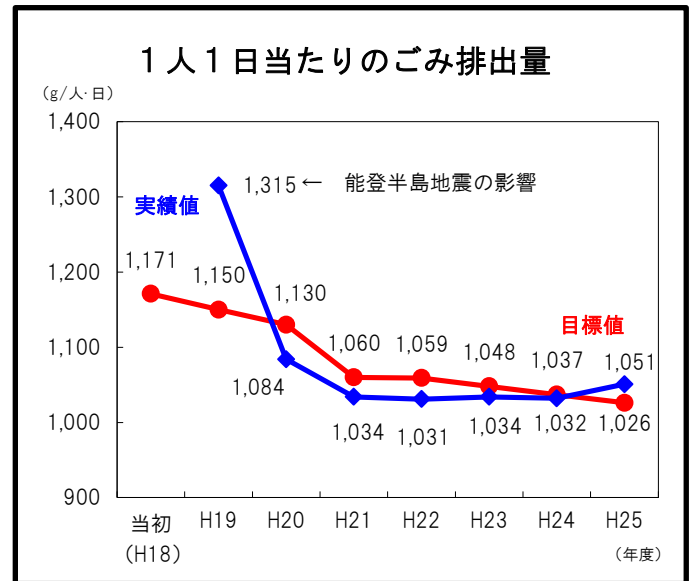
- ・ごみ分別講習会の開催
- ・資源ごみ集積所「え〜こ屋」の設置
- ・資源物回収事業推進奨励金の交付
- ・家庭用生ごみ処理機の購入補助・電気生ごみ処理機の貸し出し

目標達成に向けた具体的な課題

- ・可能な限り、物をむだに消費しない生活スタイルを心がけ、再資源化などとともに分別収集の徹底による資源化の促進と再利用も取り組む。

平成26年度の主要事業

- ・家庭用ごみ減量機器設置費補助金事業
- ・資源物回収事業推進奨励金交付事業
- ・快適環境づくり推進事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(2) 安定した水の供給

担当課	評価ランク
上下水道課	B

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
有収率	88.5%	86.5%	91.0%	93.5%

この分野における現状

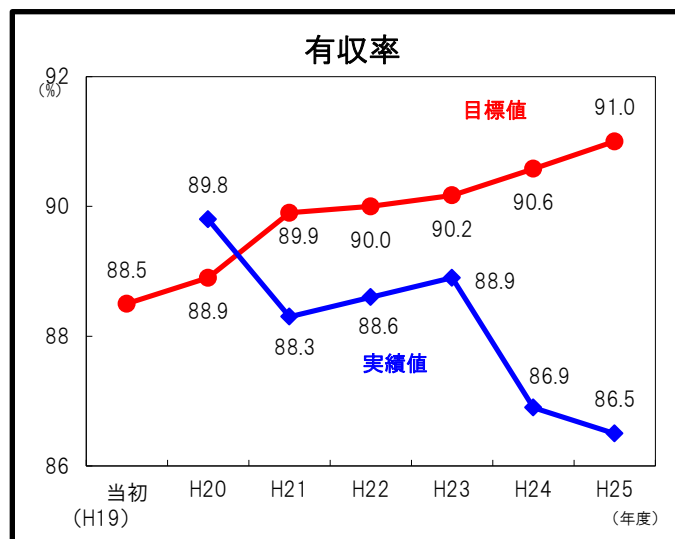
目標値より4.5%低い値となった。
要因は、国県道改良工事、老朽管更新工事等に伴う洗管作業による排水が要因である。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・老朽管の更新（石綿管等）の着実な更新
- ・漏水事故の迅速処置、応急資材の備蓄を拡充
- ・水道管理施設の整備、更新

平成26年度の主要事業

- ・有収率の低い中島の老朽管更新
- ・下水道整備に併せた老朽管更新
- ・漏水事故に対する迅速処置



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
3 生活環境の充実
(3) 下水道等の整備

担当課	評価ランク
上下水道課	S

指標名	当初 (平成19年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
御祓川の水質 (BOD)	7.2mg/L	3.7mg/L	5.0mg/L	5.0mg/L以下

この分野における現状

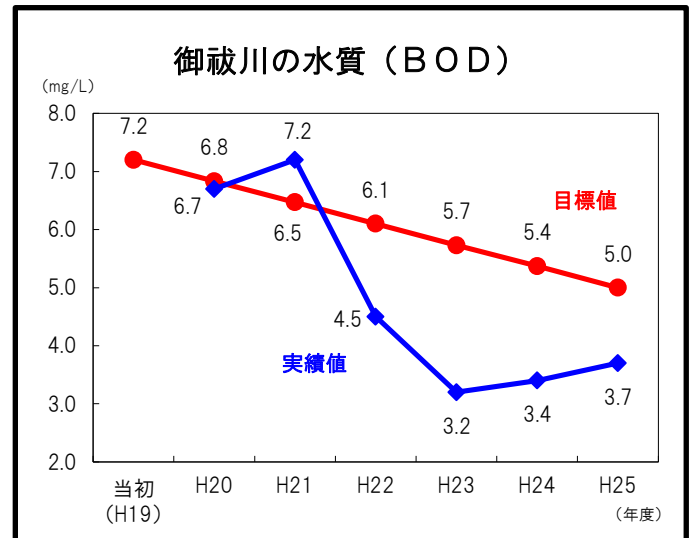
- ・ 目標値より1.3ポイント低い値となった。
- ・ 御祓地区の市街地において、下水道が整備されたことにより、水質が改善されたと思われる。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・ 七尾地区での下水道普及率は平成26年3月末で63.9%となり、昨年より1.4ポイント向上している状況である。
- ・ 下水道整備を進め接続率を向上することで、更に水質が改善されるよう努める。

平成26年度の主要事業

- ・ 公共下水道の推進
- ・ 浄化槽の推進



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
4 交通体系の充実
(1) 道路網の整備

担当課	評価ランク
土木課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間(道路)	4時間10分	3時間40分	3時間20分	3時間20分

この分野における現状

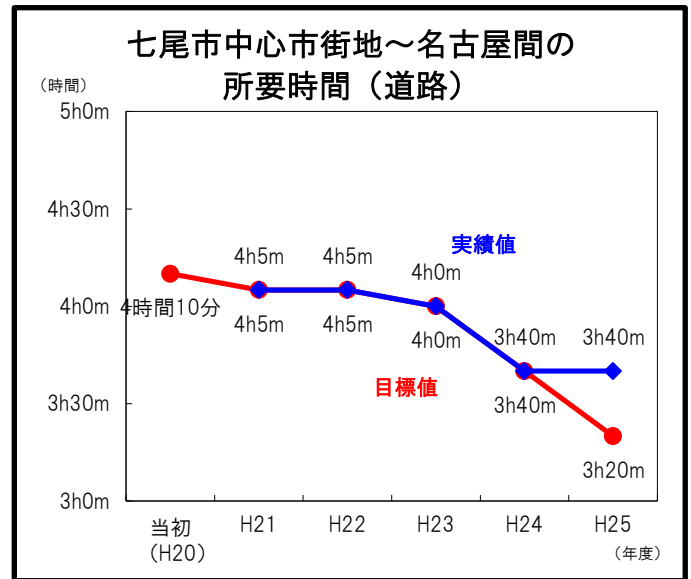
灘浦IC～小矢部砺波JCT間37.9km供用済
 七尾城山IC～七尾大泊IC間9.3km供用済
 七尾IC～七尾城山IC間3.2km事業中
 七尾大泊IC～灘浦IC間7.1km事業中

目標達成に向けた具体的な課題

- ・地元との調整
(工事説明会・見学会等実施により地元協力体制を確立)
- ・事業予算の確保
(積極的な整備促進に関する要望活動)

平成26年度の主要事業

- ・能越自動車道七尾氷見道路工事支援、地元調整
- ・能越自動車道七尾区間建設促進協議会等の運営
- ・平成26年度供用予定である(仮称)七尾ICの名称案、七尾大泊IC付近のパーキング調整等



担当課	評価ランク
土木課	A

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
安全・快適な道路整備が行われていると思う市民の割合(市民アンケート)	36.8%	42.6%	40.0%	45.0%

この分野における現状

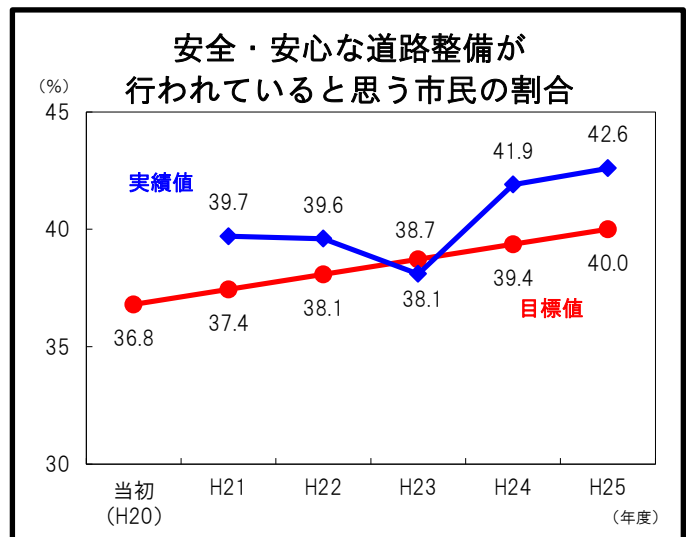
- ・市内各拠点へのアクセス機能が低い
- ・歩行者や運転者に危険な道路の存在
- ・道路ストックの老朽化

目標達成に向けた具体的な課題

- ・道路の拡幅やバイパス等の整備
(国、県に対する整備・促進活動)
- ・安全・安心な道路整備
(通学路や狭小道路の整備、橋梁の維持管理)

平成26年度の主要事業

- ・社会資本整備総合交付金事業
- ・道整備交付金事業
- ・みちがえるみち整備事業
- ・くらしにやさしいみちづくり事業



分野別目標達成状況

7 生活環境・都市基盤
4 交通体系の充実
(2) 鉄道・バスの充実

担当課	評価ランク
企画財政課	B

指標名	当初 (平成20年度)	現状 (平成25年度)	平成25年度	平成30年度
公共交通機関（鉄道・バス）が充実していると思う市民の割合（市民アンケート）	35.9%	39.7%	42.0%	50.0%

この分野における現状

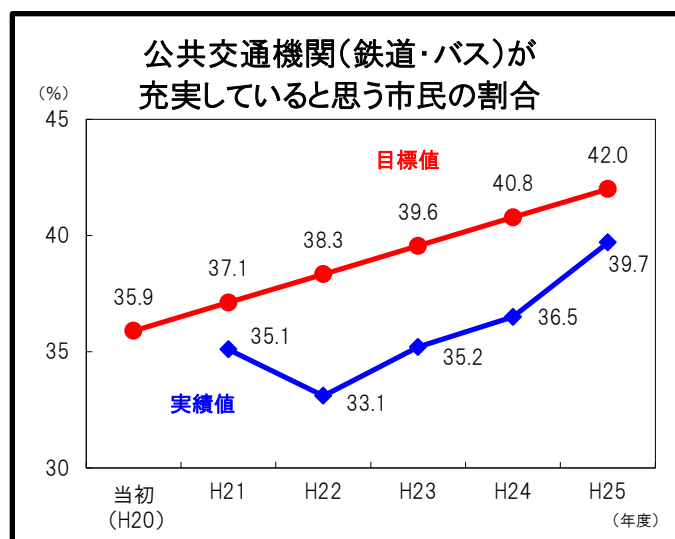
- ・過疎化、少子化、マイカー利用の増加等により公共交通利用者は減少傾向にあり、事業者の経営環境は厳しい状況である。
- ・高齢化の進展により、生活交通の維持、確保及び公共交通空白地域の解消が課題となっている。

目標達成に向けた具体的な課題

- ・利用者の減少に伴う事業者の経営状況改善
- ・高齢化の進行に対応する生活交通の維持、確保
- ・公共交通空白地域を解消するコミュニティバス、デマンド型乗合タクシー等の運行

平成26年度の主要事業

- ・のと鉄道運賃差額補助事業
- ・のと鉄道安全運行対策費補助事業
- ・生活バス路線維持対策費補助事業
- ・市内公共交通案内誘導看板設置事業



分野別目標達成状況一覧

第1節 地域経営

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
1	市民と行政が協力し合うまちづくりが進んでいると思う市民の割合(市民アンケート)	20.1% (平成20年度)	27.7% (平成24年度)	S	30.6% (平成25年度)	S	25.0%	35.0%	市民男女協働課
2	地域活動に参加している市民の割合(市民アンケート)	51.3% (平成20年度)	49.1% (平成24年度)	B	50.7% (平成25年度)	B	55.0%	60.0%	市民男女協働課
3	市が市政に関する情報を適切に提供していると思う市民の割合(市民アンケート)	47.0% (平成20年度)	44.4% (平成24年度)	C	47.2% (平成25年度)	C	56.0%	65.0%	広報広聴課
4	市役所職員の窓口や電話での対応に満足している市民の割合(市民アンケート)	56.0% (平成20年度)	57.2% (平成24年度)	B	57.4% (平成25年度)	C	65.0%	75.0%	秘書人事課
5	経常収支比率	98.8% (平成19年度)	93.4% (平成24年度)	S	94.0% (平成25年度)	S	97.0%	92.0%	企画財政課
6	実質公債費比率	20.1% (平成19年度)	16.4% (平成24年度)	S	15.6% (平成25年度)	S	19.0%	17.0%	企画財政課

第2節 産業

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
7	七尾市への入り込み客数	3,822,705人 (平成20年)	3,534,001人 (平成24年)	C	3,680,917人 (平成25年)	B	4,000,000人	4,300,000人	観光交流課
8	和倉温泉への入り込み客数	905,705人 (平成20年)	789,189人 (平成24年)	C	852,157人 (平成25年)	C	1,091,000人	1,200,000人	観光交流課
9	三大都市圏からの入り込み客数(和倉温泉)	482,114人 (平成20年)	393,586人 (平成24年)	C	407,678人 (平成25年)	C	570,000人	600,000人	観光交流課
10	外国人宿泊客数(和倉温泉)	21,227人 (平成20年)	11,817人 (平成24年)	C	19,610人 (平成25年)	B	20,000人	25,000人	観光交流課
11	体験・滞在型交流人口	2,202人泊 (平成19年度)	23,447人泊 (平成24年度)	C	37,625人泊 (平成25年度)	C	65,000人泊	90,000人泊	観光交流課
12	製造品出荷額等	693億円 (平成18年)	565億円 (平成24年)	C	538億円 (平成25年)	C	721億円	741億円	産業振興課
13	新たな商品・サービスの創出を行った事業者数	15事業者 (平成20年)	8事業者 (平成24年)	C	13事業者 (平成25年)	S	10事業者	15事業者	産業振興課
14	企業立地件数(平成20年度からの累計)	0件 (平成19年度)	4件 (平成24年度)	A	5件 (平成25年度)	S	5件	10件	産業振興課
15	新規企業家数(平成19年度からの累計)	3人 (平成19年度)	13人 (平成24年度)	S	16人 (平成25年度)	S	8人	12人	産業振興課
16	認定農家数	101経営体 (平成19年度)	126経営体 (平成24年度)	B	122経営体 (平成25年度)	B	130経営体	160経営体	農林課
17	集落営農組織数	25組織 (平成19年度)	27組織 (平成24年度)	S	30組織 (平成25年度)	S	27組織	28組織	農林課
18	間伐材生産量	1,213m ³ (平成19年度)	8,532m ³ (平成24年度)	S	6,231m ³ (平成25年度)	S	5,000m ³	5,000m ³	農林課
19	七尾市公設地方卸売市場の水産物取扱高	12,205t (平成19年)	8,960t (平成24年度)	C	17,326t (平成25年)	S	13,800t	15,300t	里山里海振興課
20	取扱貨物量(七尾港)	4,395千t (平成19年)	4,429千t (平成24年)	B	3,550千t (平成25年)	C	4,900千t	5,400千t	産業振興課
21	空き店舗の活用件数(平成21年度からの累計)	0件 (平成20年度)	1件 (平成24年度)	C	4件 (平成25年度)	S	4件	9件	産業振興課
22	まちなかイベント入り込み客数	104,600人 (平成19年)	112,685人 (平成24年度)	C	116,183人 (平成25年)	C	135,000人	160,000人	観光交流課

分野別目標達成状況一覧

第3節 教育

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
23	学校の決まりを守っていないという小学生の割合	25.0% (平成19年度)	11.4% (平成24年度)	S	9.9% (平成25年度)	S	12.0%	10.0%	子ども教育課
24	将来の夢や目標がないという中学生の割合	32.0% (平成19年度)	11.2% (平成24年度)	S	20.2% (平成25年度)	A	21.0%	10.0%	子ども教育課
25	中学校における不登校生徒の割合	3.22% (平成19年度)	3.09% (平成24年度)	C	3.53% (平成25年度)	C	2.00%	1.00%	子ども教育課
26	学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	4教科 (平成19年度)	11教科 (平成24年度)	S	10教科 (平成25年度)	S	10教科	すべての教科	子ども教育課
27	授業に対する児童生徒の理解度	36.5% (平成19年度)	52.9% (平成24年度)	S	48.6% (平成25年度)	B	50.0%	70.0%	子ども教育課
28	市民一人当たり年間公民館利用回数	3.8回 (平成19年度)	4.0回 (平成24年度)	B	4.2回 (平成25年度)	S	4.2回	4.5回	生涯学習スポーツ課
29	市民一人当たり年間利用冊数	6.2冊 (平成19年度)	7.0冊 (平成24年度)	S	6.8冊 (平成25年度)	B	7.0冊	8.0冊	中央図書館
30	成人の週1回以上のスポーツ実施率(市民アンケート)	23.1% (平成20年度)	20.3% (平成24年度)	C	19.8% (平成25年度)	C	40.0%	50.0%	生涯学習スポーツ課
31	姉妹・友好都市との交流人口	149人 (平成19年度)	144人 (平成24年度)	B	101人 (平成25年度)	C	160人	170人	市民男女協働課
32	人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合(市民アンケート)	23.4% (平成20年度)	18.6% (平成24年度)	C	22.3% (平成25年度)	C	26.0%	28.0%	市民男女協働課
33	男女共同参画が進んでいると思う市民の割合(市民アンケート)	27.8% (平成20年度)	27.7% (平成24年度)	B	25.2% (平成25年度)	C	31.0%	33.0%	市民男女協働課

第4節 芸術・文化

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
34	歴史・文化遺産が守られていると思う市民の割合(市民アンケート)	53.6% (平成20年度)	52.2% (平成24年度)	C	52.4% (平成25年度)	C	58.6%	60.0%	文化課
35	七尾四大祭り入り込み客数	204,000人 (平成20年)	180,000人 (平成24年)	C	166,500人 (平成25年)	C	250,000人	300,000人	観光交流課
36	七尾美術館観覧者数	23,348人 (平成19年度)	27,728人 (平成24年度)	C	30,643人 (平成25年度)	C	38,000人	41,000人	文化課
37	能登島ガラス美術館観覧者数	43,078人 (平成19年度)	42,452人 (平成24年度)	C	41,388人 (平成25年度)	C	55,000人	60,000人	文化課
38	能登演劇堂鑑賞者数	19,231人 (平成19年度)	12,228人 (平成24年度)	C	44,366人 (平成25年度)	S	24,000人	28,800人	文化課

第5節 自然環境

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
39	七尾市の豊かな自然環境が守られていると思う市民の割合(市民アンケート)	41.3% (平成20年度)	39.0% (平成24年度)	C	44.1% (平成25年度)	C	50.0%	60.0%	環境課
40	七尾らしい魅力ある景観が形成されていると思う市民の割合(市民アンケート)	32.7% (平成20年度)	39.9% (平成24年度)	A	42.4% (平成25年度)	S	40.0%	45.0%	都市建築課
41	家庭において温暖化防止対策の取り組みにより削減したCO ₂ の量	10,606kg (平成19年度)	62,572kg (平成24年度)	C	78,330kg (平成25年度)	C	97,129kg	117,129kg	環境課
42	リサイクル率	18.6% (平成19年度)	18.9% (平成24年度)	C	18.2% (平成25年度)	B	20.2%	25.0%	環境課

分野別目標達成状況一覧

第6節 健康・福祉・医療

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
43	子どもを生き育てやすい環境が整っていると思う市民の割合(市民アンケート)	30.6% (平成20年度)	31.3% (平成24年度)	C	34.0% (平成25年度)	C	40.0%	50.0%	子育て支援課
44	子育て支援拠点施設利用人数	16,754人 (平成19年度)	24,450人 (平成24年度)	B	25,747人 (平成25年度)	S	24,500人	24,500人	子育て支援課
45	育児に不安を持っている親の割合	12.1% (平成19年度)	13.5% (平成24年度)	C	17.7% (平成25年度)	C	10.0%	8.0%	健康推進課
46	【修正】毎日朝食を食べる習慣のある子どもの割合	92.9% (平成22年度)	100.0% (平成24年度)	S	98.7% (平成25年度)	B	100.0%	100.0%	健康推進課
47	肥満の割合(BMI 25以上)	32.0% (平成19年度)	29.5% (平成24年度)	C	28.7% (平成25年度)	C	22.0%	12.0%	健康推進課
48	ストレスを感じている人の割合(市民アンケート)	76.2% (平成20年度)	68.8% (平成24年度)	B	67.7% (平成25年度)	B	65.0%	50.0%	健康推進課
49	医療体制が充実していると思う市民の割合(市民アンケート)	49.8% (平成20年度)	55.2% (平成24年度)	B	59.3% (平成25年度)	B	60.0%	62.0%	保険課
50	「いきがい」を感じて日常生活を送っている高齢者の割合(市民アンケート)	63.4% (平成20年度)	61.5% (平成24年度)	B	65.6% (平成25年度)	S	65.0%	70.0%	福祉課
51	要介護・要支援認定率	17.4% (平成20年)	18.6% (平成24年)	A	18.5% (平成25年)	特A	20.4%	22.0%	保険課
52	障害者雇用率	1.89% (平成19年)	1.76% (平成24年)	C	1.73% (平成25年)	C	2.00%	2.20%	福祉課
53	障害者が暮らしやすい環境が整っていると思う市民の割合(市民アンケート)	23.6% (平成20年度)	23.8% (平成24年度)	C	22.9% (平成25年度)	C	37.0%	51.0%	福祉課
54	支え合い、助け合うという意識が地域にあると思う市民の割合(市民アンケート)	44.0% (平成20年度)	48.6% (平成24年度)	S	51.0% (平成25年度)	S	48.0%	58.0%	福祉課

第7節 生活環境・都市基盤

No.	指標名	当初	平成24年度		平成25年度		目標値		担当課
			実績値	評価	実績値	評価	平成25年度	平成30年度	
55	自主防災組織数(累計)	12団体 (平成19年度)	180団体 (平成24年度)	S	207町会 (平成25年度)	S	80団体	120団体	防災交通課
56	良好な住環境が形成されていると思う市民の割合(市民アンケート)	38.6% (平成20年度)	35.7% (平成24年度)	C	34.4% (平成25年度)	C	45.0%	50.0%	都市建築課
57	自主防犯組織数	20団体 (平成19年度)	28団体 (平成24年度)	S	32団体 (平成25年度)	S	25団体	30団体	防災交通課
58	交通事故発生件数	229件 (平成20年)	190件 (平成24年)	S	134件 (平成25年)	S	200件	180件	防災交通課
59	1人1日当たりのごみ排出量	1,171g/人・日 (平成18年度)	1,032g/人・日 (平成24年度)	A	1,051g/人・日 (平成25年度)	B	1,026g/人・日	995g/人・日	環境課
60	有収率	88.5% (平成19年度)	86.9% (平成24年度)	B	86.5% (平成25年度)	B	91.0%	93.5%	上下水道課
61	御祓川の水質(BOD)	7.2mg/L (平成19年度)	3.4mg/L (平成24年度)	S	3.7mg/L (平成25年度)	S	5.0 mg/L	5.0mg/L以下	上下水道課
62	七尾市中心市街地～名古屋間の所要時間(道路)	4時間10分 (平成20年度)	3時間40分 (平成24年度)	A	3時間40分 (平成25年度)	B	3時間20分	3時間20分	土木課
63	安全・快適な道路整備が行われていると思う市民の割合(市民アンケート)	36.8% (平成20年度)	41.9% (平成24年度)	S	42.6% (平成25年度)	A	40.0%	45.0%	土木課
64	公共交通機関(鉄道・バス)が充実していると思う市民の割合(市民アンケート)	35.9% (平成20年度)	36.5% (平成24年度)	C	39.7% (平成25年度)	B	42.0%	50.0%	企画財政課